

FUJITSU Server PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

※RX2530 M5/RX2540 M5/RX4770 M5 の樹系図については、
当社ホームページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>) をご参照ください。

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。	
OS名	略称
Windows Server® 2019 Standard	WS19S
Windows Server® 2019 Datacenter	WS19D
Windows Server® 2019 Essentials	WS19E
Windows Server® IoT 2019 for Storage Standard	WSI19SS
Windows Server® 2016 Standard	WS16S
Windows Server® 2016 Datacenter	WS16D
Windows Server® 2016 Essentials	WS16E
Windows® Storage Server 2016 Standard	WSS16S
Windows Server® 2012 R2 Standard	WS12RS
Windows Server® 2012 R2 Datacenter	WS12RD
Windows Server® 2012 R2 Foundation	WS12RF
Windows Server® 2012 R2 Essentials	WS12RE
Windows® Storage Server 2012 R2 Standard	WSS12RS
Windows Server® 2012 Standard	WS12S
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F
Windows Server® 2012 Essentials	WS12E
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	WS08S-64
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	WS08E-64
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	WS08S-32
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	WS08E-32
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08H-32
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P
Windows® 10 Home (32-bit/64-bit)	W10H
Windows® 10 Pro (32-bit/64-bit)	W10P
Windows® 10 Enterprise (32-bit/64-bit)	W10EN
Windows® 10 Education (32-bit/64-bit)	W10ED
Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)	W8.1
Windows® 8.1 Pro (32-bit/64-bit)	W8.1P
Windows® 8.1 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8.1E
Windows® 8 (32-bit/64-bit)	W8
Windows® 8 Pro (32-bit/64-bit)	W8P
Windows® 8 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8E
Windows® 7 Home Premium	W7HP
Windows® 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate	W7P/E/U
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium	WVHB/HP
Windows Vista® Business	WVB
Windows Vista® Enterprise	WVE
Windows Vista® Ultimate	WVU
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64
Windows® XP Professional	WXPP
Red Hat® Enterprise Linux® 8 (for Intel64)	RHEL8(Intel64)
Red Hat® Enterprise Linux® 7 (for Intel64)	RHEL7(Intel64)
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for x86)	RHEL6(x86)
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for x86)	RHEL5(x86)
Red Hat® Enterprise Linux® ES/AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)
Red Hat® Enterprise Linux® ES/AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)
SUSE® Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64	SLES 15 (x86 64)
SUSE® Linux Enterprise Server 12 for AMD64 & Intel64	SLES 12 (x86 64)
SUSE® Linux Enterprise Server 11 for AMD64 & Intel64	SLES 11 (x86 64)
VMware vSphere® 7 (VMware vSphere ESXi 7.0)	vS7.0
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.7)	vS6.7
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.5)	vS6.5
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.0)	vS6.0

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

サーバ監視・管理ソフトウェアについて

PRIMERGYのサーバ監視・管理には、標準添付のServerView Suite DVDに収められているServerView Operations ManagerやServerView System Monitorをご使用になります。また、リモートマネジメントコントローラ(iRMC S5)やInfrastructure Manager(ISM)を使用して行うこともできます。

以下の各サーバ監視ソフトウェアの特徴をご確認いただき、適切なサーバ監視を選択してください。

[サーバ監視ソフトウェアの種類]

監視ソフトウェア (*1)		ServerView Operations Manager [SVOM]	リモートマネジメントコントローラ Webインターフェース [iRMC WebUI] (*2)	ServerView System Monitor [SVSM] (*3)	Infrastructure Manager [ISM] (*4)
特徴		・物理マシンも仮想マシンも一緒に管理 ・サーバのリソースも監視可能	・OS上に監視ツールをインストールせず監視可能 ・使用するOSに依存しない ・管理サーバを用意する必要なし ・装置が電源OFFのときも管理可能	・装置にリモートマネジメントコントローラが搭載されていない、または、ネットワークに接続していないても監視可能 ・管理サーバを用意する必要なし	・運用監視を自動化 ・他社装置、ネットワークも管理 ・大規模管理ソフトウェアと連携可能 ・仮想アプライアンスとして提供
構成	管理可能装置数	1～1000台 (*5)	1台	1台	2～1000台
	監視対象 (情報取得先) (*6)	ServerView Agents / ServerView ESXi CIM Provider / iRMC S5	iRMC S5	ServerView Agents	iRMC S5
	ストレージ監視	ServerView RAID Manager ServerView Storage Manager	監視対応アレイコントローラ (*7)	ServerView RAID Manager	監視対応アレイコントローラ (*7)
環境	監視ソフトの インストール先	Windows Server / RedHat Enterprise Linux (ゲストOS上で可)	必要なし	必要なし	仮想ホスト (仮想アプライアンスとして提供)
	使用するネットワーク (*8)	Agents / CIM Provider : 業務ネットワーク iRMC S5 : 管理ネットワーク	管理ネットワーク	業務ネットワーク	業務ネットワーク 管理ネットワーク
	監視対象に必要な ソフトウェア (*9)	ServerView Agents ServerView ESXi CIM Provider	必要なし	ServerView Agents	必要なし
	推奨環境	・監視対象が1台～数十台 ・管理用の装置を用意できる ・仮想マシンも一括して管理したい	・複数台を管理する必要がない ・OS上に余分なソフトウェアを入れたくない ・ネットワークを監視と業務で分離したい ・ハードの状態監視がなければよい	・複数台の監視をする必要がない ・リモート通報サービスを必要としない ・リモート管理を行わない ・ハードの状態監視がなければよい	・監視対象が数台～数百台規模 ・サーバ以外のリソースも管理したい ・運用管理コストを削減したい ・大規模管理ソフトウェアを導入している ・仮想化ソフトウェアを使用している

(*1) リモート通報監視対象外モデルがあります。

GX2570 M5、GX2460 M1、LX1430 M1

(*2) PRIMERGY TX1310 Mx 等のiRMC S5を搭載していない装置ではお使いいただけません。

(*3) System MonitorはServerView Agentsの機能の一部です。ServerView AgentsをインストールするとSystem Monitorもインストールされます。

(*4) Infrastructure Managerについては、以下をご確認ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>

(*5) Windows OS上でデータベースとしてMicrosoft SQL Serverを使用します。SVOMに同梱されるExpress バージョンを使用した場合は、200台程度までとなります。

(*6) それぞれの監視対象の詳細については、後述の【監視対象サーバ用エージェントソフトウェアの種類】をご確認ください。

(*7) 使用可能な構成および留意事項は、「iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連」をご覧ください。

(*8) ネットワークの種類は以下の2種類です。どちらも同じネットワークとして使用することができます。

業務ネットワーク:通常の業務で使用され、動作しているOSにアクセスできるネットワークです。

管理ネットワーク:管理専用で使用されるネットワークです。PRIMERGYの場合、リモートマネジメントコントローラと接続されるネットワークです。

(*9) このほか、監視ソフトウェア自身または一部機能を使用するために、OSの機能や追加パッケージを必要とする場合があります。詳細は各ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

・各監視ソフトウェアで監視可能な項目につきましては、下記に掲載の「ServerView Operations Manager サーバ監視ご紹介」をご確認ください。

■当社ホームページ:

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/pdf/svs/svom-server.pdf>

・リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。

■当社ホームページ:

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →

「ServerView Suite のマニュアル」→「製品を選択する」→「製品の検索」→「iRMC」で検索する

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・Infrastructure Manager [ISM] サポート

ISM用のサポートサービスとして「SupportDesk Standard」をご用意しております。

専任技術者による充実したサービス内容でお客様のシステムの安定稼働を強力にバックアップします。
提供ラインナップ詳細は下表のとおりです。

	SupportDesk Standard (平日サポート)	SupportDesk Standard (24時間サポート)
サービス時間帯	平日8:30~19:00	24時間365日
サポート対象範囲	仮想アプライアンス	仮想アプライアンス
サービス内容	・専門技術者によるサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)	

ISM Advancedは、ご購入から1/3/5年のSupportDeskがバンドルされています。

SupportDeskのサービスを開始するには製品に同梱されている「お客様登録票」にご記入のうえ、担当営業へご提出ください。

お客様登録完了後、サービス開始となります。

ISM Essential は、ホームページより無償でダウンロードしてご利用いただくことは可能ですが、サポートは受けられません。

別途SupportDeskをご契約いただくことを推奨します。これにより「ISM Essential に関するお問い合わせへの対応」や、「最新版のアップデートモジュール」の入手が可能(*)となります。

なお ISM のリモート通報機能でハードウェアのリモート通報による保守を受けるには、ハードウェアのSupportDesk契約の他に、ISM EssentialのSupportDesk契約が必須です。

(*) サポート契約がなく、最新版にする場合は、新規インストールを実施いただくこととなります。

SupportDesk Standard のサポート対象は、ISM のみです。

利用ハードウェア/ゲストOS/ミドルウェアのサポートは、別途、SupportDesk 契約が必要です。

また、他社機上で本製品を動作させている場合は、サポート対象外です。

ISMのサポート付き製品は下表のとおりです。

略称		製品名	型名	平日	24時間
Infrastructure Manager [ISM]	サーバ	Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(1年間24時間サポート付) V2	B5178D381	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(3年間24時間サポート付) V2	B5178F381	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(5年間24時間サポート付) V2	B5178H381	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(1年間平日サポート付) V2	B5178E381	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(3年間平日サポート付) V2	B5178G381	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(5年間平日サポート付) V2	B5178J381	○	-
	ノード	Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V2	B5177V381	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V2	B5177X381	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V2	B5177Z381	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(1年間平日サポート付) V2	B5177W381	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(3年間平日サポート付) V2	B5177Y381	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(5年間平日サポート付) V2	B51780381	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V2	B51787385	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V2	B51789385	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V2	B5178B385	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(1年間平日サポート付) V2	B51788385	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(3年間平日サポート付) V2	B5178A385	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(5年間平日サポート付) V2	B5178C385	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V2	B5177P38A	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V2	B5177R38A	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V2	B5177T38A	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(1年間平日サポート付) V2	B5177Q38A	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(3年間平日サポート付) V2	B5177S38A	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(5年間平日サポート付) V2	B5177U38A	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V2	B5178138F	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V2	B5178338F	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V2	B5178538F	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(1年間平日サポート付) V2	B5178238F	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(3年間平日サポート付) V2	B5178438F	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(5年間平日サポート付) V2	B5178638F	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V2	B5177H38N	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V2	B5177K38N	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V2	B5177M38N	-	○
		Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(1年間平日サポート付) V2	B5177J38N	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(3年間平日サポート付) V2	B5177L38N	○	-
		Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(5年間平日サポート付) V2	B5177N38N	○	-
Essential (*1)	-	Infrastructure Manager Essential Edition	SV7BA003G	○	-
		Infrastructure Manager Essential Edition	SV7BA003R	-	○

(*1) 製品名、型名はEssentialのSupportDesk契約を表しています。なお、EssentialのSupportDesk契約は月額払いとなります。金額の詳細はシステム構成図本体を参照願います。

購入ライセンス数は以下を参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/license/>

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

[監視対象サーバ用エージェントソフトウェアの種類]

■ServerView Agents

対応OS:

Windows/Linux/XenServer

概要:

ハードウェアと通信を行い、本体装置の状態監視や各種データの取得やロギング、異常通知を行います。

また、ServerView Operations Managerより指示される、シャットダウンやイベント等に関するさまざまな設定も、このサーバ監視プログラムで行います。

ServerView Agentsに含まれるSystem Monitorを使用して、ServerView Agentsがインストールされている装置の状態表示を行うことができます。

■ServerView ESXi CIM Provider

対応OS:

VMware ESXi 6.x

VMware ESXi 7.x

概要:

VMware ESXi ホスト上で動作し、ハードウェアと通信を行い、本体装置の状態監視や各種データの取得やロギング、異常通知を行います。

また、ServerView Operations Managerより指示される、イベント等に関するさまざまな設定も、このサーバ監視プログラムで行います。

・留意事項やインストール手順につきましては、当社ホームページ(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/>)内、VMwareのマニュアルをご確認ください。

・ServerView Resource Orchestrator(以下、ROR)にてVMware ESXiを管理対象とする方法については、RORのマニュアル「設計ガイド」→「ServerView Operations Managerの設定(VMware ESXi)」をご確認ください。

・VMwareのサーバ監視・管理においては、リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を推奨いたします。

システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。

・vCenter Serverが提供するProactive HA機能を使用する場合、ServerView ESXi CIM Providerが動作している必要があります。

Proactive HA機能を使用するVMware環境のサーバ監視・管理においてはvCenter Serverによる監視と、リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理の併用を推奨いたします。

なお、この場合ServerView Operations ManagerでServerView ESXi CIM Provider監視を行う必要はありません。

・ServerView ESXi CIM Providerを使った監視の場合、ESXi上で利用可能なリソースに制約があるため、問題が発生した時に十分な情報が得られず原因究明にいたらない場合があります。

回避策として CIM Provider の再インストール、もしくは定期的な手動での再起動をお願いする場合がございますので、ご了承願います。

■リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]

対応OS:

OS依存なし

概要:

リモートマネジメントコントローラは標準搭載のハードウェアです。

システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。

リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →

「ServerView Suite のマニュアル」→「製品を選択する」→「製品の検索」→「iRMC」で検索する

・OSのシャットダウン処理やOSの情報取得を行うためには、監視対象サーバ上のOSにServerView Agentless Service または ServerView Agentsをインストールする必要があります。ServerView Agentless ServiceのサポートOSはWindows(64bit)/Linux(64bit)のみとなります。

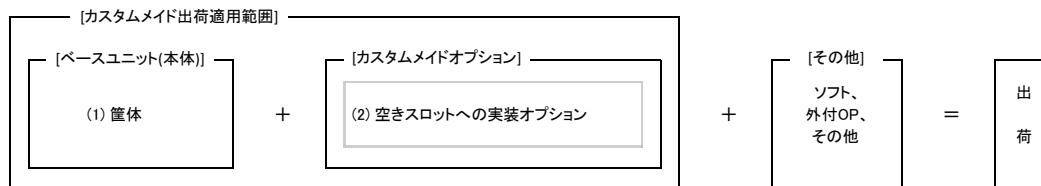
ウィルス対策について

- PRIMERGYを安定してご使用いただくため、ウィルス対策の導入を強くおすすめします。
ウィルス対策はお客様ご自身の責任において行ってください。

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU／メモリ／ディスク等のオプションをお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。
カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模／予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

- カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について
カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。
それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



- [カスタムメイド適用製品一覧]
- ベースユニット(本体)
PRIMERGY本体機種/外付オプション(JX40 S2/JX60 S2/PRIMERGY SX05 S2)が対象となります。
 - カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション
PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)。

- カスタムメイド出荷における注意事項について
出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。
カスタムメイド手配時にはご注意願います。

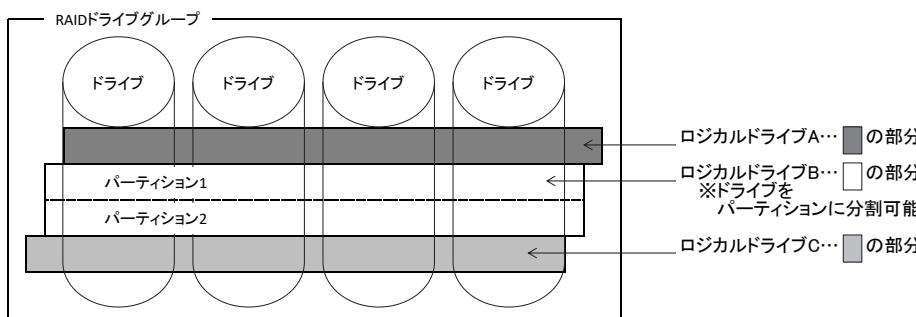
システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

内蔵ストレージ関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- RAIDドライブグループ……1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ロジカルドライブ……OSがドライブとして認識できるドライブ。
- パーティション……OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



<構成規則について>

- RAIDドライブグループは、同型名の内蔵ストレージでの構成を推奨します。なお、同種類(SAS/ニアラインSAS/BC-SATA/SATA/SAS SSD/SATA SSD/PCIe SSD)、同容量/同回転数/同書き込み保証値の内蔵ストレージでの構成は可能です。
※自己暗号化機能対応の内蔵ストレージを使用する場合、RAIDドライブグループは、同型名の内蔵ストレージで構成してください。
- 同一RAIDドライブグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
ただし、UEFI環境でご使用になる場合は2TB以上に設定することも可能です。
- 各機種のUEFI環境対応状況は、当社ホームページ(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>)をご参照ください。

- 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書込む方式)	1～32台 (*1)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書込む方式)	2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを分割・二重化し、複数ドライブに書込む方式)	4～32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1+0	(信頼性向上のために、RAID1のデータを分割(RAID0)し、複数ドライブに書き込む方式)	4～16台 (*2) (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割し、バリティを加えて書込む方式)	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]
・RAID5+0	(RAID5の性能向上のために、RAID5のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数]
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し、2つのバリティを加えて書込む方式)	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]
・RAID6+0	(RAID6の性能向上のために、RAID6のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数]

(*1) PY-SC3FA/PYBSC3FAの場合は2～10台、オンボードソフトウェアRAID (Intel VROC SATA)の場合は2～8台となります。

(*2) オンボードソフトウェアRAID (Intel VROC SATA)の場合は4台となります。

- 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することができます(異なるRAIDレベルも可能)。

使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認ください。
※各ストレージコントローラはPCIバスルーフ非サポートです。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		
			1RAIDドライブグループ当たり	左記以外のRAIDレベル	1カード当たり
オンボードSATAコントローラ	標準搭載(Embedded MegaRAID)	4	1	8	8
オンボードSATAコントローラ	標準搭載(Intel VROC SATA)	4	2	2	4
SASコントローラカード	PY-SC3FA/PYBSC3FA	2	—	1	2
SASアレイコントローラカード	PY-SR3FA/PYBSR3FA PY-SR3FB/PYBSR3FBL	32	16	16	32
SASアレイコントローラカード	PY-SR3C41/PYBSR3C41/PY-SR3C41H/PYBSR3C41H PY-SR3C42/PYBSR3C42/PY-SR3C42H/PYBSR3C42H PY-SR3C43/PYBSR3C43/PY-SR3C43H/PYBSR3C43H PY-SR3C52/PYBSR3C52/PYBSR3C52L PY-SR3C54/PYBSR3C54/PYBSR3C54L PY-SR3C55/PYBSR3C55L PYBSR3C56/PYBSR3C56L PY-SR3C58/PYBSR3C58/PYBSR3C58L PYBSR3C59/PYBSR3C59L PY-SR3C5E/PYBSR3C5E/PYBSR3C5EL	128	16	16	64
SASアレイコントローラカード	PY-SR4C6/PYBSR4C6L	120	16	16	240

(*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様に準じます。

- ホットスペアディスクは対象RAIDドライブグループと同じ内蔵ストレージで設定してください。

異なる内蔵ストレージを使用した複数のRAIDドライブグループが存在する構成において、各々のRAIDドライブグループをホットスペアの対象とするためには、各々のRAIDドライブグループに対して、ホットスペアを最低1台設定する必要があります。

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

SASコントローラカードの接続方法について

- SASコントローラカードは、使用OS(OS機能)により、接続可能なストレージ構成、接続方式が異なります。詳細につきましては、下表および各機種の「内蔵ストレージ構成時の注意事項」の「■B: 使用OSに応じたストレージコントローラと内蔵ストレージの接続方法を確認」をご参照ください。

■接続可能方式

	使用OS	(OS非依存)	Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019	VMware
	OS機能	Windows記憶域スペース、vSAN以外	Windows記憶域スペース(*1)(*2)	vSAN(*3)(*4)
	使用可能なストレージペイ	ストレージペイ非依存	搭載可能数9本以上のストレージペイ	ストレージペイ非依存
接続方式	非アレイ(パススルー)	×	○(*7)	○
	非アレイ(パススルー)+アレイ接続(*5)	×	○	×
	アレイ接続(*6)	○	×	×

○:サポート、×:非サポート

(*1) 物理ストレージのリソースプール管理を実現し、柔軟な仮想ストレージ構成を可能とするOS機能です。詳細につきましては、下記マイクロソフト社ホームページ「記憶域スペースの概要」等のOS側ドキュメントをご確認ください。

■マイクロソフト社公開ホームページ「記憶域スペースの概要」: <http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh831739.aspx>

(*2) RX2540 M5/RX2540 M6はエキスパンダーがある構成のみのサポートとなります。

(*3) 複数の物理サーバーに内蔵されたストレージを1つの仮想的な共有ストレージ(vSANデータストア)として利用する機能です。別途有償のVMwareソフトウェアライセンスの購入が必要となります。VMware/vSANの対応状況および機能詳細につきましては、下記をご参照ください。

■当社ホームページ「VMwareのサポート情報」: <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>

■ VMwareウェア社公開ホームページ「vSAN」: <https://www.vmware.com/jp/products/vsan.html>

(*4) PY-SC3FA3V/PYBSC3FA3V/PY-SC3FB3/PYBSC3FB3Lを使用する必要があります。

(*5) システム(OS)領域のみ、RAID0、RAID1のアレイ接続が可能です。

(*6) アレイ接続は最大14台です。

(*7) RX2540 M6はPY-SC3FB/PYBSC3FBLでは使用できません。

記憶域スペースダイレクト機能に関する留意事項

Windows Server 2019 / 2016 Datacenterで提供されている「記憶域スペースダイレクト(Storage Space Direct)機能」を、PRIMERGYで利用するために必要なハードウェアおよび留意事項については、以下の情報を参照ください。

■Windows サポート&サービス

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

・ Windowsに関する留意情報

「Windows Serverの記憶域スペース機能、および、記憶域スペースダイレクト機能に関する留意事項」

RAIDロジカルドライブのライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

キャッシュメモリが搭載されているSASアレイコントローラカードは、RAIDロジカルドライブごとにライトポリシー(Write Policy)を「Write Back」設定にすることで、同キャッシュメモリをストレージへの書き込みキャッシュとして使用し、多くのアプリケーションで性能を向上させることが可能です。

「Write Back」動作させる場合は、サーバの電源障害などからキャッシュメモリ上のデータを保護するため、SASアレイコントローラカードのオプションであるフラッシュバックアップユニット(FBU)やバッテリーバックアップユニット(BBU)を搭載するか、無停電電源装置UPS等でサーバを使用してください。

■ライトポリシー(Write Policy)の解説

動作 (Current Write Mode)	キャッシュメモリの動作	FBU/BBUの搭載
Write Through	読み込みのみ	任意
Write Back	読み込み、書き込み	推奨

SASアレイコントローラカードのライトポリシー(Write Policy)設定、FBU/BBUの有無・状態ごとの動作、および出荷時の設定は下表のとおりです。

■ライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

設定 (Default Write Mode)	FBU / BBU	動作 (Current Write Mode)	出荷時の設定
Write Through	あり / なし	—	Write Through
Write Back	あり	十分	Write Back
		不十分	Write Through
	なし	—	Write Through
Always-Write Back	あり / なし	—	Write Back

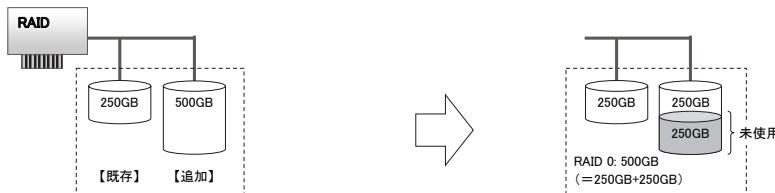
※ FBU/BBU使用時の注意事項

- BBUは、サーバ稼働中に充電されるため、稼働開始直後など充電量が不足している場合、および定期的なりキャリブレーション(調整のための充放電サイクル)実行中に充電量が不足している場合は、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。
- FBUは、稼働開始直後など充電量が不足している場合、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。リキャリブレーション中ににおいてもWrite Back設定は維持されます。
- 充電完了までの目安は、FBU:最大10分程度、BBU:最大12時間程度となります。

異なる容量のドライブ増設時のアレイ構築について

- アレイ構築の際、RAIDドライブグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

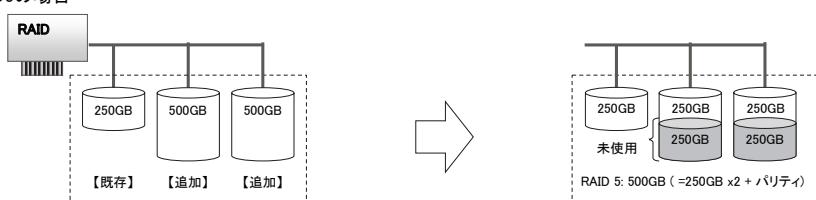
(1) RAID0 or RAID1の場合



ストレージコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中(RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。

既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

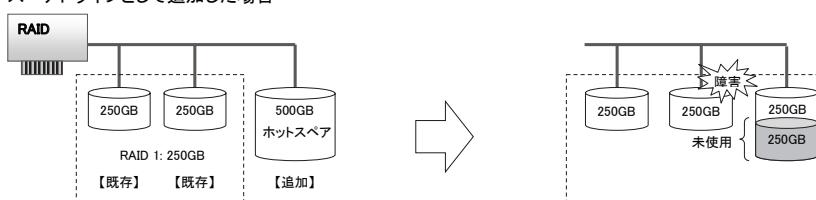
(2) RAID5の場合



既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0, 1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。

- アレイを構成しているドライブより大きな容量のドライブであれば、ホットスペアドライブとして使用することができます。

(3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルトが行われます。残り250GBは未使用となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

消耗品の扱いについて

- 下表のバッテリー(ストレージコントローラに搭載されているバッテリーも含む)は、消耗品となります。
 - 消耗品には寿命があります。寿命は、バッテリーを搭載し、初回通電日からの換算となります。
 - 寿命に至った場合、保証期間、SupportDesk契約有無(※)に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に交換用バッテリー製品をご購入いただき、交換作業をしていただく必要があります。
 - なお、寿命期間は25°Cを基準温度として定めており、お客様の使用温度によって寿命期間が前後することがありますのであらかじめご留意ください。
 - バッテリーは非稼働な状態でも、放電を続けるため、ご購入後は速やかな搭載作業をお願いいたします。
 - RAS支援サービスやOS標準スケジュール機能により交換予告通知設定をする事が可能です。事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。
- 詳細につきましては、当社ホームページ「定期交換部品・消耗品・有寿命部品」(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/>)をご参照ください。

※SupportDesk Standardをご契約いただいているお客様向けに、「SupportDesk 保守サービスプラス 予防保守 RAID/バッテリー定期交換(PRIMERGY)」をご用意しております。詳細については当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/menu/maintenance/raidbattery/>)をご参照ください。

※お客様に代わって、指定のサービスエンジニアによるバッテリー交換サービスとして、「SASアレイコントローラカードバッテリー交換作業代行サービス」をご用意しております。詳細については当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/service/parts-exchange.html>)をご参照ください。

■2014年1月以降提供製品

バッテリー【消耗品】	
寿命期間:「2年」	
品名	型名
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01A PYBBR01A PYBBR02A PYBBR03A PY-BBR06A PYBBR06A PY-BBR07A
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04A PYBBR04A PYBBR05A

交換用バッテリー【消耗品】		
寿命期間:「2年」		
品名	型名	価格(税別)
交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	12,000円
交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円

■2013年12月以前提供製品 ※旧製品(販売終息済み)

バッテリー【消耗品】	
旧製品(販売終息済み)	
寿命期間:「約3年」	
品名	型名
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01 PYBBR01 PYBBR02 PYBBR03
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7 PGBBU7
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02 PYBBD02
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248KL PG-248GL PG-248G1 PG-248G2 PG-248G3 PG-248G3L PG-248C3 PG-248C4 PG-248C6 PG-248C2L PG-248J PG-248J1 PG-248JC PG-248J5 PG-248C7 PG-248C8 PG-248G5 PG-248J2 PG-248JL PG-248J3 PG-248J4 PG-248K PG-248KL PG-248K3
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU6 PGBBU6
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04 PYBBR04 PYBBR05
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248C PG-248C1 PG-248CL PG-244C1 PG-244CL
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248G PG-248G1L PG-248G2L
SASアレイコントローラカード	PG-244C PGB244C

交換用バッテリー【消耗品】		
2014年1月販売開始		
寿命期間:「2年」		
品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU5	23,000円
バッテリーバックアップユニット	PY-BBU7	23,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PY-BBD02	23,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU1	20,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU4	20,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU2	20,000円
保守終息済みのため、後継製品の提供はありません。		

(*1) 資料内は一般型名(別梱包で出荷)[PG-型名]のみ記載しておりますが、カスタムメイド型名(本体内蔵出荷)[PGB型名]も対象となります。

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

有寿命部品関連事項

有寿命部品のSSD / DCPMM / Optane PMemについて

本製品は、書き込み寿命を有するメモリを含んだ「有寿命部品」となります。

お客様のご使用方法により、保証期間内またはSupportDesk契約期間内にメモリの書き込み寿命を迎える場合があります。

製品の保証は、当社の定める製品保証期間/SupportDesk契約終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。

ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(*)、製品保証期間/SupportDesk契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。

(*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

定期的に状態をご確認いただき、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に当社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談をくださいますようお願いいたします。

また、SupportDesk契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、当社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談くださいますようお願いいたします。

富士通へ保守作業をご依頼いただく際には、あらかじめ寿命に至っているかどうかをご確認のうえ、お申込みください。

SSD / DCPMM / Optane PMemの書き込み保証値について

本製品の状態は、管理ツールを使用して確認できます。

DCPMM/Optane PMemの寿命監視の方法は、各ユーザーズガイドをご参照ください。

本製品の書き込み保証値と管理ツールの詳細な操作方法については、下記の当社公開ホームページをご参照ください。

当社ホームページ(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/#parts2>)

管理ツールおよびドライバは、当社ホームページ:「ダウンロード」より入手できます。

当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)

SATA SSD[有寿命部品]をアレイ構成で使用する場合について

SATA SSD[有寿命部品]をオンボードSATAコントローラ(Embedded MegaRAID)に接続し、アレイ構成にてご使用になる場合は、必ずソフトウェアRAID用ドライバをご確認のうえ、ご使用ください。

OS	ドライバ(ドライバキット)名称とバージョン
Windows全般	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Windows Driver バージョン :V17.01.2016.0216以降
Red Hat Enterprise Linux 8.3 (for Intel64)	オンボードSATAコントローラに接続したアレイ構成は、現在制限です
Red Hat Enterprise Linux 8.2 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン :V18.02.2020.0827以降
Red Hat Enterprise Linux 8.1 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 8.0 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン :V18.02.2019.0603以降
Red Hat Enterprise Linux 7.9 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 7.8 (for Intel64)	オンボードSATAコントローラに接続したアレイ構成は、現在制限です
Red Hat Enterprise Linux 7.7 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン :V18.02.2019.0603以降
Red Hat Enterprise Linux 7.6 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン :V18.02.2019.0304以降
Red Hat Enterprise Linux 7.5 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 7.4 (for Intel64)	初版から対応済み
Red Hat Enterprise Linux 7.3 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン :V17.01.2016.0216以降
SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2 for AMD64 & Intel64	オンボードSATAコントローラに接続したアレイ構成は、現在制限です
SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5 for AMD64 & Intel64	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン :V18.02.2019.0603以降
SUSE Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 3 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 2 for AMD64 & Intel64	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン :V17.01.2016.0216以降

SATA SSD[有寿命部品]をオンボードSATAコントローラ(Intel VROC SATA)に接続し、アレイ構成にてご使用になる場合は、必ずソフトウェアRAID用ドライバをご確認のうえ、ご使用ください。

OS	ドライバ(ドライバキット)名称とバージョン
Windows全般	Intel(R) Virtual RAID on CPU (Intel(R) VROC) Windows Driver
Red Hat Enterprise Linux 8.3 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 8.2 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 7.9 (for Intel64)	初版から対応済み
SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2 for AMD64 & Intel64	初版から対応済み

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能なメモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下のとおりです
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります)。

OS略称	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
WS19S	無制限(~64)	24TB
WS19D	無制限(~64)	24TB
WS19E	(~2)	64GB
WSI19SS	無制限(~64)	24TB
WS16S	無制限(~64)	24TB
WS16D	無制限(~64)	24TB
WS16E	(~2)	64GB
WSS16S	(~2)	24TB
WS12S / WS12RS	(~64)	4TB
WS12D / WS12RD	(~64)	4TB
WS12F / WS12RF	(~1)	32GB
WS12E / WS12RE	(~2)	64GB
WSS12RS	(~64)	4TB
RHEL8(Intel64)	~224	24TB
RHEL7(Intel64)	~224	12TB
SLES 15 (x86_64)	~8192	64TB
SLES 12 (x86_64)	~8192	64TB
vS7.0	864	24TB
vS6.7	768	16TB
vS6.5	576	12TB

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コア/8コア/10コア/12コア/16コア/18コア/20コア/22コア/24コア/26コア/28コア/32コア/36コア/38コア/40コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。()内は物理CPU数です。

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリの動作モードについて

メモリ動作モードには、インディペンデントチャネルモード、ランクスペアリングモード、パフォーマンスマード、ミラードチャネルモードの4種類があります。
 メモリ動作モードの選定でメモリ構成や搭載条件が決められ、性能・動作が変ります。CPU1、CPU2は同じメモリモードで動作します。
 メモリ構成の詳細はモデルによって異なります。詳細は以下を参照してください。

■ RX2520 M5/TX2550 M5の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では、
 SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載位置(DIMMが1型名の時)(工場出荷時)

・工場出荷時はDIMM2型名以上は搭載できません。

■ 物理CPU1個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	ctrl.			iMC1			iMC0					
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
#DIMMS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-
3	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-
4	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-
5*	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-
6	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-

○:搭載、-:メモリ非搭載、*:推奨しない構成

■ 物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	ctrl.			iMC1			iMC0					
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
#DIMMS	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
2(1/1)	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
3(2/1)	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-
4(2/2)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-
5(3/2)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-
6(3/3)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-
7(4/3)	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
8(4/4)	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-
9(6/3)	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
10(6/4)	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-
11(6/5)	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○
12(6/6)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

○:搭載、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置(DIMMが2型名で偶数枚の時)(増設時)

・DIMMが2型名の時、以下の搭載位置にすることを推奨します。

・DIMM3型名は搭載不可です。

・DIMMの混在可能な組み合わせについては、各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。

■ 物理CPU1個構成時

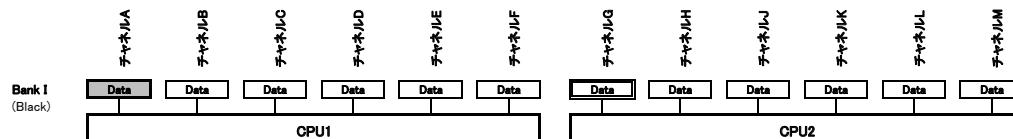
CPU	CPU1						CPU2					
	ctrl.			iMC1			iMC0					
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
#DIMMS	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
4	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-
6	1	1	1	2	2	2	-	2	2	1	1	-

数字:搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-:メモリ非搭載

■ 物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	ctrl.			iMC1			iMC0					
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
2(1/1)	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
4(2/2)	-	-	1	2	-	-	-	-	2	1	-	-
6(3/3)	1	1	1	2	2	-	-	-	2	1	-	-
8(4/4)	1	1	1	2	2	-	-	2	2	1	1	-
10(6/4)	1	1	1	2	2	2	-	2	2	1	1	-
12(6/6)	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1

数字:搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-:メモリ非搭載



- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- 任意

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【ミラードチャネルモード】

(1) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。

(2) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。

【DIMMの搭載位置】

■物理CPU1個構成時

ctrl.	CPU1					
	iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C
#DIMMs	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	○	○	-
3	-	-	-	○	○	○
4	-	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	○

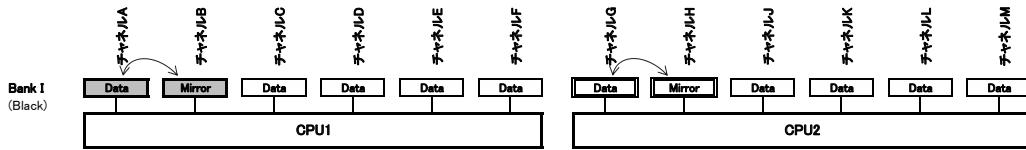
○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

ctrl.	CPU1						CPU2					
	iMC1			iMC0			iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
#DIMMs	4(2/2)	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-
5(3/2)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-
6(3/3)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○
7(4/3)	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○
8(4/4)	-	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-
9(6/3)	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○
10(6/4)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
12(6/6)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

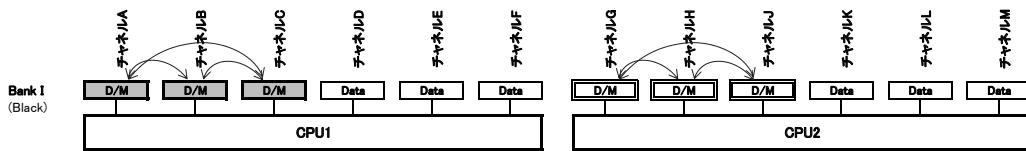
○:搭載、-:メモリ非搭載

<1CPUあたり2 DIMMsの場合>



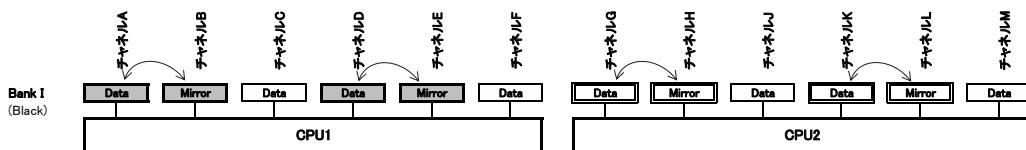
- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



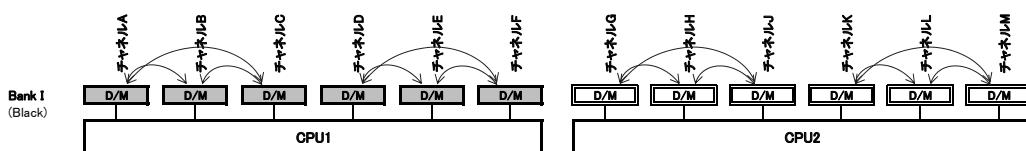
- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

<1CPUあたり4 DIMMsの場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

<1CPUあたり6 DIMMsの場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

D/M: Data/Mirror

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■RX2530 M5/RX2540 M5の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載位置(DIMMが1型名の時)】(工場出荷時)

・工場出荷時はDIMM2型名以上は搭載できません。

■物理CPU1個構成時

主控CPU插槽情况		CPU1								CPU0							
CPU ctrl.		iMC1								iMC0							
Channel		F	E	D	A	B	C										
socket	#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C				
1	-	-	-	-	-	-	-	-	O	-	-	-	-				
2	-	-	-	-	-	-	-	-	O	-	O	-	-				
3	-	-	-	-	-	-	-	-	O	-	O	-	O				
4	-	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O				
5*	-	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O				
6	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O				
7*	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O				
8	-	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O				
9*	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O	-	O				
10*	O	-	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O				
11*	O	-	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O				
12	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O				

○:搭載、-:メモリ非搭載、*:推奨しない構成

■物理CPU2個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置(DIMMが2型名で偶数枚の時)】(増設時)

- DIMMが2型名の時、以下の搭載位置にすることを推奨します。
 - DIMM3型名は搭載不可です。

DIMMの混在可能組合せについては、各機種の「[4]」の搭載についてご参照ください。

■ 物理CPU1個構成時

数字:搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-:メモリ非搭載、*:推奨しない構成

■物理CPU2個構成時

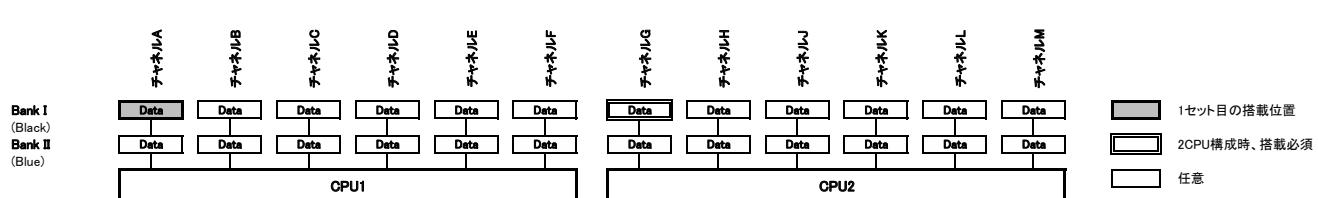
CPU ctrl. Channel socket #DIMMS	CPU1										CPU2										
	iMC1					iMC0					iMC1					iMC0					
	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)									
1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1I
2(1/1)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4(2/2)	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6(3/3)	-	-	2	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8(4/4)	-	-	2	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	1	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10(6/4)	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	1	-	1	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12(6/6)	2	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	1	2	-	2	-	2	-	1	-	1
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14(8/6)	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-
15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16(12/4)	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-	-	-	2	2	2	2	1	1	1	1	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18(12/6)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	2	-	1	-	1
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20(12/8)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	-	2	2	2	2	1	1	1	-
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22(12/10)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	2	2	1	1	1	1
23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24(12/12)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載

FUJITSU Server PRIMERGY

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。



【ランクスペアリングモード】

- (1) 同一メモリチャネルの中で、1つのランクはほかのランクのスペアとして利用できます。
(2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されているため、システムメモリとして利用できません。
(3) 同一メモリチャネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
(4) 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
(5) ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
(6) 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank × 2, Dual Rank × 1、またはQuad Rank × 1
(7) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(9GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
(8) 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下のようになります。

【*王川使用可能容量】

	RDIMM						LRDIMM	
	8GB	16GB	16GB	32GB	64GB	64GB	128GB	
	SR	SR	DR	DR	DR	QR	QR	
1DPC	-	-	8GB	16GB	32GB	48GB	96GB	
2DPC	8GB	16GB	24GB	48GB	96GB	112GB	224GB	

SR:Single Rank
DR:Dual Rank
QR:Quad Rank

※DPC・チャネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載位置】

【DIMMの1台載位置】 ＜Single Rankメモリ (RDIMM) の場合＞

■物理CPU1個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU ctrl. Channel socket #DIMMS	CPU1										CPU2									
	iMC1					iMC0					iMC1					iMC0				
	F	E	D	A	B	2A	1A	2B	1B	2C	1C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)			
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
6(4/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
8(4/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-
10(6/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-
12(6/6)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○
14(8/6)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○
16(8/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-
18(10/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-
20(10/10)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-
22(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-

○:搭載、-:メモリ非搭載

＜Dual Rankメモリ / Quad Rankメモリの場合＞

■物理CPU1個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

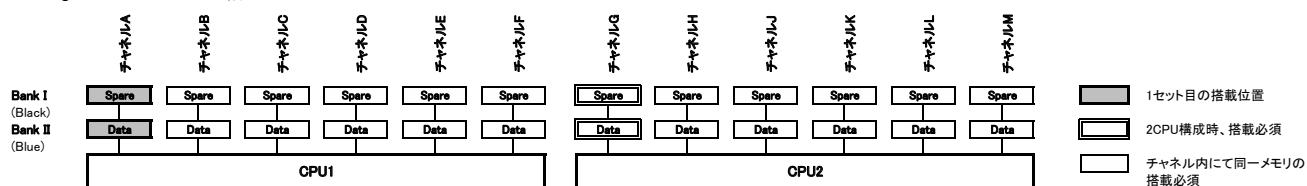
ctrl.	CPU1								CPU2								
	iMC1				iMC0				iMC1				iMC0				
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)	socket				
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	
2(1/1)	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-
6(4/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-
8(4/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-
10(6/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-
12(6/6)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-
14(8/6)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○
16(8/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○
18(10/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○
20(10/10)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○
22(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○

24(12/12) ○ ○
○:塔載 -:X:非塔載

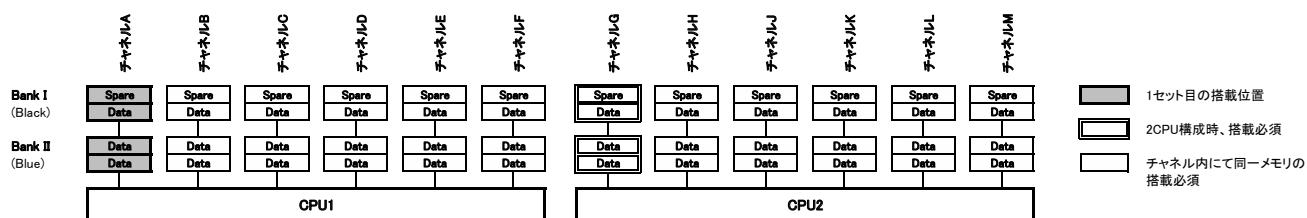
システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

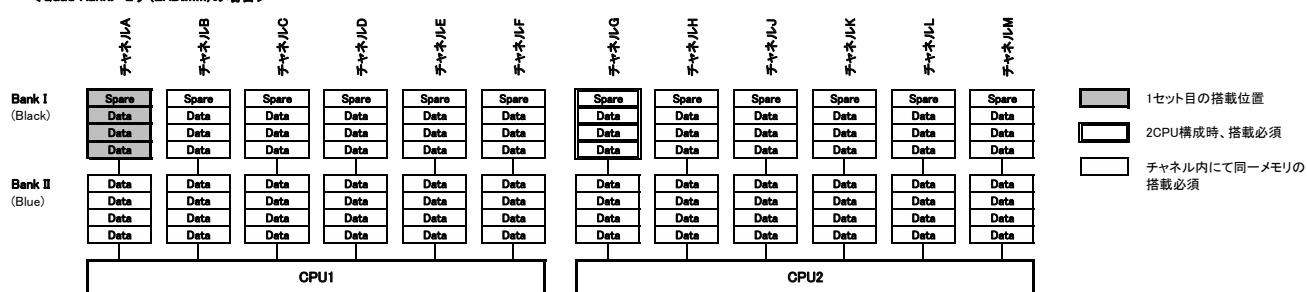
<Single Rankメモリ(RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ(RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ(LRDIMM)の場合>



【ミラーチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- (4) ミラーチャネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

■物理CPU1個構成時

CPU ctrl.	CPU1																		
	iMC1						iMC0												
	Channel socket #DIMMS	F	E	D	A	B	C	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
2	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

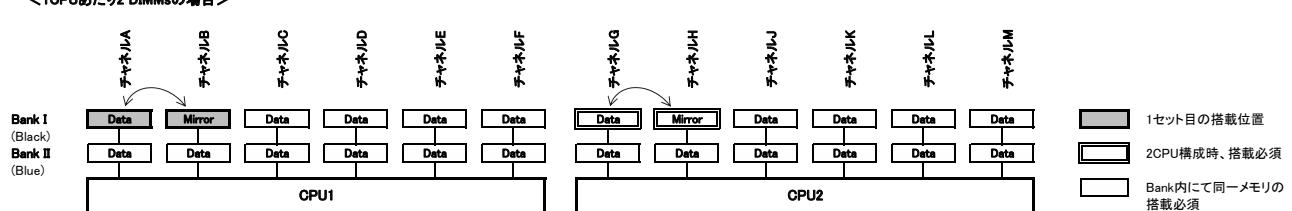
○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時(すべてのモジュールが同じ容量の場合)

CPU ctrl.	CPU1												CPU2											
	iMC1						iMC0						iMC1						iMC0					
	Channel socket #DIMMS	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
5(3/2)	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
6(3/3)	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
7(4/4)	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
8(4/4)	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
9(6/3)	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
10(6/4)	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
11(8/3)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○
12(6/6)	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
14(8/6)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
15(9/6)	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
16(8/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-
17(9/8)	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-
18(9/9)	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-
20(12/8)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
21(12/9)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○:搭載、-:メモリ非搭載

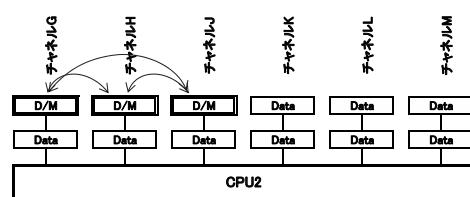
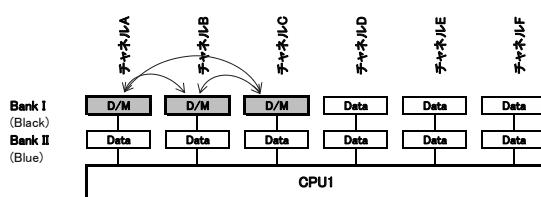
<1CPUあたり2 DIMMsの場合>



システム構成図留意事項

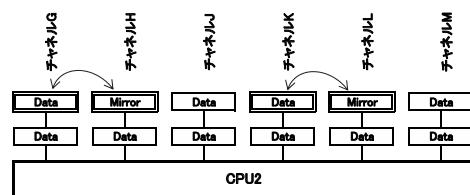
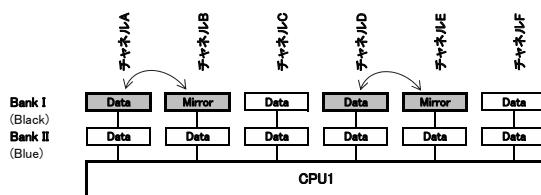
※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



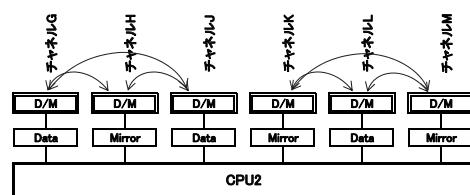
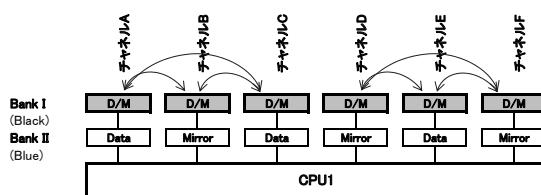
- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

<1CPUあたり4 DIMMsの場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

<1CPUあたり6 DIMMsの場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2CPU構成時、搭載必須
- Bank内にて同一メモリの搭載必須

D/M: Data/Mirror

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■RX2530 M6/RX2540 M6の場合

【インディペンデントチャネルモード】

- (1) Single Rank × 8(メモリ8GB/8GB 3200 RDIMM × 1), Dual Rank × 8(メモリ16GB(16GB 3200 RDIMM × 1)では、SDDC機能は未サポート。
 (2) CPU 1個につき、1枚、2枚、4枚、6枚、8枚、12枚、16枚のメモリを搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

- ・工場出荷時の制限(カスタムメイド名手配時の制限)
 - 同一メモリ型名のみ手配可能です。
 - CPU毎に同一メモリ数のみ手配可能です。(メモリ数手配合計=1, 2, 4, 6, 8, 12, 16xCPU個数)
 「物理CPU2個構成時」表の〇印の構成のみカスタムメイド名で手配可能です。それ以外の構成については、一般型名で手配し、表の搭載位置に従って搭載ください。

■1CPUあたりの搭載ルール

CPU	CPU0			
	0	1	2	3
IMC	0	1	0	1
CH	0	1	0	1
SLOT	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1
Socket	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H
1	D			
2	D			D
4	D		D	
6	D	D	D	D
8	D	D	D	D
12	D	D	D	D
16	D	D	D	D

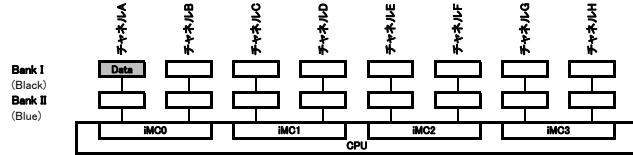
■物理CPU2個構成時

CPU	CPU0				CPU0				
	0	1	2	3	0	1	2	3	
iMC	0	1	0	1	0	1	0	1	
CH	0	1	0	1	0	1	0	1	
SLOT	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	
Socket	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H	1K 2K 1L 2L 1M 2M 1N 2N 1P 2P 1Q 2Q 1R 2R	1K 2K 1L 2L 1M 2M 1N 2N 1P 2P 1Q 2Q 1R 2R	1K 2K 1L 2L 1M 2M 1N 2N 1P 2P 1Q 2Q 1R 2R	1K 2K 1L 2L 1M 2M 1N 2N 1P 2P 1Q 2Q 1R 2R	
BTO	DIMMs	2CPU populated				2CPU populated			
○	2(1/1)	D			D				
○	4(2+2)	D			D				
○	6(4+2)	D		D	D		D		
○	8(4+4)	D		D	D		D		
○	10(6+4)	D	D	D	D	D	D	D	
○	12(6+6)	D	D	D	D	D	D	D	
○	14(8+6)	D	D	D	D	D	D	D	
○	16(8+8)	D	D	D	D	D	D	D	
○	20(12+8)	D	D	D	D	D	D	D	
○	24(12+12)	D	D	D	D	D	D	D	
○	28(16+12)	D	D	D	D	D	D	D	
○	32(16+16)	D	D	D	D	D	D	D	

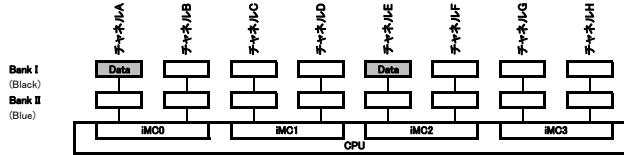
○: カスタムメイド手配可能、D: メモリ搭載位置

[3200 Registered DIMM/3200 Registered DIMM 3DS/3200 Load Reduced DIMMのみ]

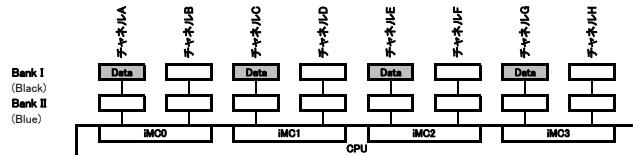
<1CPUあたり1DIMMsの場合>



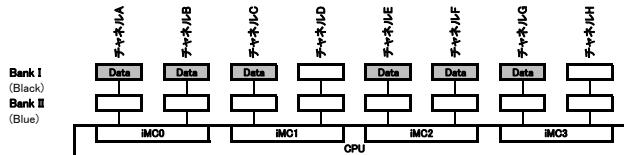
<1CPUあたり2DIMMsの場合>



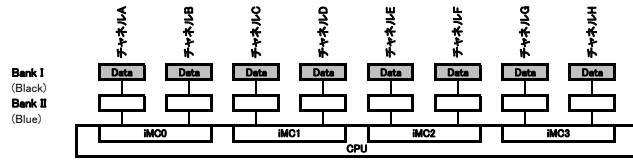
<1CPUあたり4DIMMsの場合>



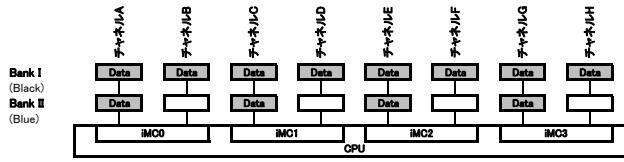
<1CPUあたり6DIMMsの場合>



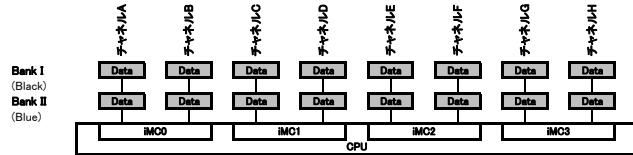
<1CPUあたり8DIMMsの場合>



<1CPUあたり12DIMMsの場合>



<1CPUあたり16DIMMsの場合>

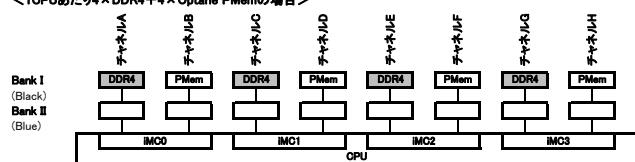


システム構成図留意事項

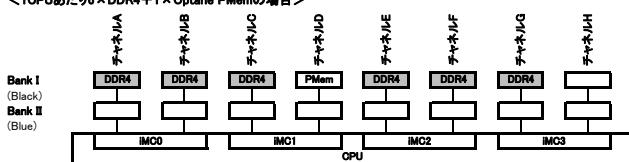
※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【Optane PMem+3200 Registered DIMM/3200 Registered DIMM 3DS】

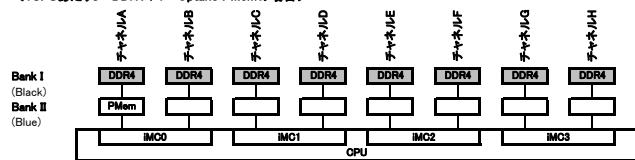
<1CPUあたり4×DDR4+4×Optane PMemの場合>



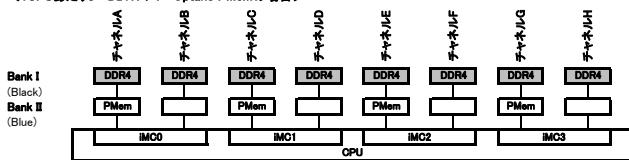
<1CPUあたり6×DDR4+1×Optane PMemの場合>



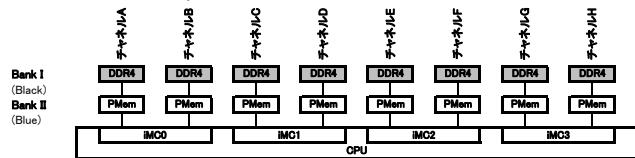
<1CPUあたり8×DDR4+1×Optane PMemの場合>



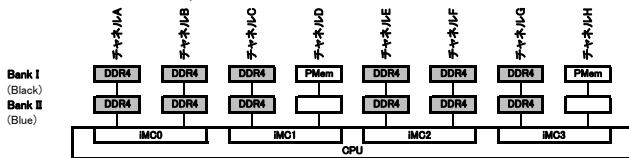
<1CPUあたり8×DDR4+4×Optane PMemの場合>



<1CPUあたり8×DDR4+8×Optane PMemの場合>



<1CPUあたり12×DDR4+2×Optane PMemの場合>



【ミラードチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Single Rank × 8(メモリ-8GB 3200 RDIMM × 1), Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 3200 RDIMM × 1))では、SDDC機能は未サポートです。
- (4) ミラーチャネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) CPU 1個につき、8枚、16枚のメモリを搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

- ・工場出荷時の制限(カスタムメイド型名手配時の制限)
 - 同一メモリ型名のみ手配可能です。
 - CPU毎に同一メモリ数のみ手配可能。(メモリ手数配合計=8, 16xCPU個数)
- 「物理CPU2個構成時」表の○印の構成のみカスタムメイド型名で手配可能です。それ以外の構成については、一般型名で手配し、表の搭載位置に従って搭載ください。

■1CPUあたりの搭載ルール

CPU	CPU0			
	0	1	2	3
iMC	0	1	0	1
CH	0	1	0	1
SLOT	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1
Socket	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H 1I 2I 1K 2K 1L 2L 1M 2M 1N 2N 1P 2P 1Q 2Q 1R 2R			
8	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D
16	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D

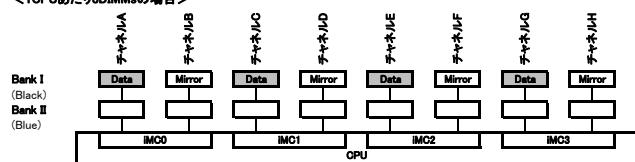
■物理CPU2個構成時

GPU	CPU0				CPU0			
	0	1	2	3	0	1	2	3
iMC	0	1	0	1	0	1	0	1
CH	0	1	0	1	0	1	0	1
SLOT	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1
Socket	1A 2A 1B 2B 1C 2C 1D 2D 1E 2E 1F 2F 1G 2G 1H 2H 1I 2I 1K 2K 1L 2L 1M 2M 1N 2N 1P 2P 1Q 2Q 1R 2R							
BTO	DIMMs	2CPU populated						
○	16(8+8)	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D
○	32(16+16)	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D	D D D D D D D D

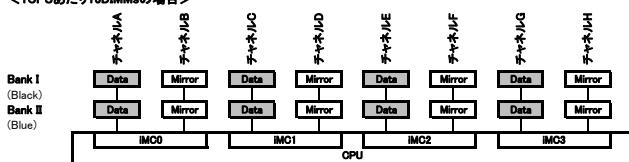
○:カスタムメイド手配可能, D:メモリ搭載位置

【3200 Registered DIMM/3200 Registered DIMM 3DS/3200 Load Reduced DIMMのみ】

<1CPUあたり8DIMMsの場合>



<1CPUあたり16DIMMsの場合>



システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ RX4770 M5の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB/8GB 2933 RDIMM×1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM×12)、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM×1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM×12))では、SDDC機能は未サポートです。
物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ×1(12枚構成)は搭載不可です。

【DIMMの搭載位置(DIMMが1型名の時)】(工場出荷時)

・工場出荷時はDIMM2型名以上は搭載できません。

物理CPU2個構成時

ctrl.	CPU1						CPU2					
	iMC1			iMC0			iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
#DIMMS	-	-	-	-	-	-	1M	2M	1L	2L	1K	2J
2(1/1)	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○
3(2/1)	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○
4(2/2)	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○
5(3/2)	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○
6(3/3)	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○
7(4/3)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○
8(4/4)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○
9(6/3)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	○
10(6/4)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	○
11(8/3)	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○
12(6/6)	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○
13(7/6)	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○
14(8/6)	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○
15(9/6)	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	○
16(12/4)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○
17(9/8)	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○
18(12/6)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○
19(12/7)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○
20(12/8)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-
21(12/8)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○
22(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
23(12/11)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載、*:推奨しない構成

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【DIMMの搭載位置(DIMMが2型名で偶数枚の時】(増設時)

- DIMMが2型名の時、以下の搭載位置にすることを推奨します。
- DIMM3型名は搭載不可です。
- DIMMの混在可能な組み合わせについては、各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。

■物理CPU2個構成時

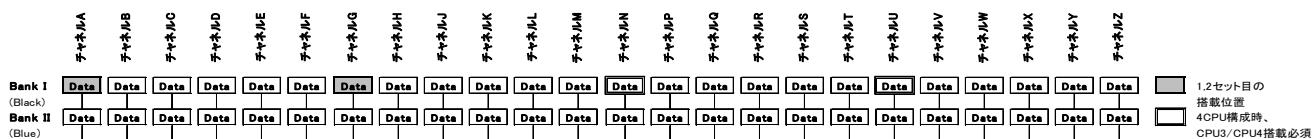
CPU ctrl.	CPU1						CPU2					
	iMC1			iMC0			iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
#DIMMS	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J
2(1/1)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4(2/2)	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	2	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6(3/3)	-	2	-	2	-	1	-	1	-	-	2	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8(4/4)	-	-	2	-	2	-	1	-	1	-	2	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10(6/4)	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	2	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12(6/6)	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	2	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14(8/6)	-	-	2	2	2	2	1	1	1	-	2	-
15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16(12/4)	-	-	2	2	2	2	1	1	1	-	2	2
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18(12/6)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	-
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20(12/8)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	-
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22(12/10)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	-
23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24(12/12)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	-

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

CPU ctrl.	CPU1						CPU2						CPU3						CPU4							
	iMC1			iMC0			iMC1			iMC0			iMC1			iMC0			iMC1			iMC0				
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)	T	S	R	N	P	Q	Z	Y	X	U	V	W		
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	IM	2M	1L	2L	1K	2K	1G	2H	1H	2J	1J	1T	2T	
#DIMMS	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	1J	IS	2S	1R	2R	2N	IN	2P	1P	2Q	1Q	1Z	2Z	1Y	2Y
4(1/1/1/1)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
6(2/2/1/1)	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
8(2/2/2/2)	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
10(3/2/2/2)	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
12(3/3/3/3)	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
14(4/3/3/3)	-	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
16(4/4/4/4)	-	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
18(6/3/3/3)	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2	-
20(6/4/4/4)	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2	-
22(6/6/4/4)	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2	-
24(6/6/6/6)	2	-	2	-	2	-	1	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2	-
26(8/6/6/6)	-	2	2	2	2	2	1	1	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2	-
28(8/8/6/6)	-	2	2	2	2	2	1	1	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	2	2	1	1	1	-	2	-
30(8/8/8/6)	-	2	2	2	2	2	1	1	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	2	2	1	1	1	-	2	-
32(8/8/8/8)	-	2	2	2	2	2	1	1	1	-	1	-	2	-	2	-	-	2	2	2	1	1	1	-	2	-
34(12/6/8/8)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	1	1	1	1	2	2
36(12/6/12/6)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	2
38(12/8/12/6)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	2
40(12/8/12/8)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	2
42(12/12/12/6)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	2
44(12/12/12/8)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	2
46(12/12/12/10)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	2
48(12/12/12/12)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-	2	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	2

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載



【ランクスペアリングモード】

- 同一モリチャネルの中で、1つのランクはほかのランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されているため、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。物理CPU4個構成時はCPU1/CPU2/CPU3/CPU4で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてモリを搭載する場合、同一メモリ型のみ搭載可能です。
- 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank × 2, Dual Rank × 1、またはQuad Rank × 1
- Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1), メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12)), Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1), メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ(Single Rank × 4) × 1、× 3(12、36枚構成)、12枚セットのメモリ(Dual Rank × 4) × 1(12枚構成)は搭載不可です。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下のようにになります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM						LRDIMM					
	8GB	16GB	16GB	32GB	64GB	64GB	128GB	SR	DR	DR	DR	QR
1DPC	-	-	-	8GB	16GB	32GB	48GB	SR	DR	DR	DR	QR
2DPC	8GB	16GB	24GB	48GB	96GB	112GB	224GB	DR	DR	DR	DR	DR

※DPC:チャネルあたりのDIMM数

SR:Single Rank

DR: Dual Rank

QR: Quad Rank

FUJITSU Server PRIMERGY

システム構成図留意事項

※OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【DIMMの搭載位置】

<Single Rankメモリ (RDIMM) の場合>

■物理CPU2個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

<Dual Rankメモリ / Quad Rankメモリの場合>

■物理CPU2個構成時

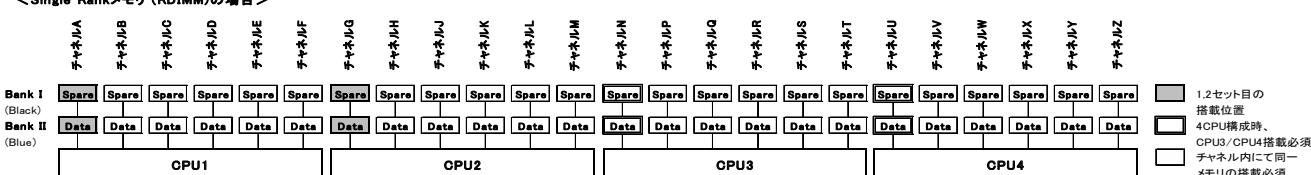
CPU ctrl. Channel socket #DIMMs	CPU1							CPU2						
	iMC1				iMC0			iMC1				iMC0		
		F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)	
		1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	2J
2	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-
8	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-
10	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-
12	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○
14	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○
16	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○
18	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○
20	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○
22	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

○:搭載、-:メモリ非搭載

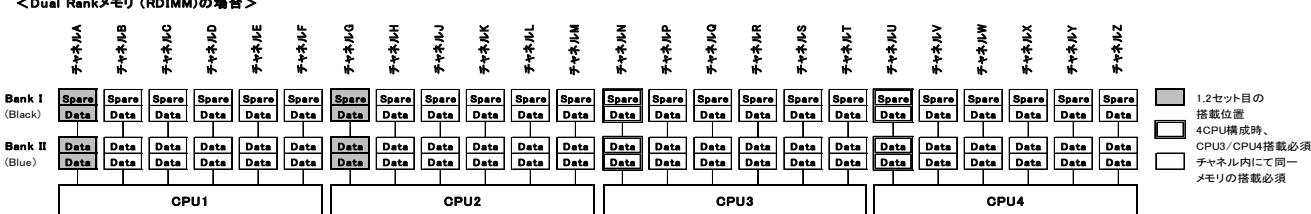
■物理CPU4個構成時

48

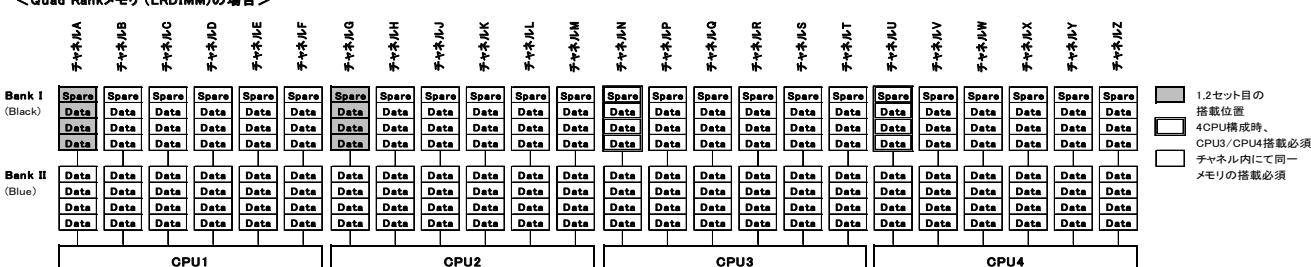
<Single Rankメモリ (RDIMM) の場合>



＜Dual Rankモード（RDIMM）の場合＞



<Quad Rankメモリ (LRDIMM) の操作>



システム構成図留意事項

※OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【ミラードチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (3) Single Rank X8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank X8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
 - (4) ミラーチャネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
 - (5) 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ×1(12枚構成)は搭載不可です。

【DIMMの搭載位置】

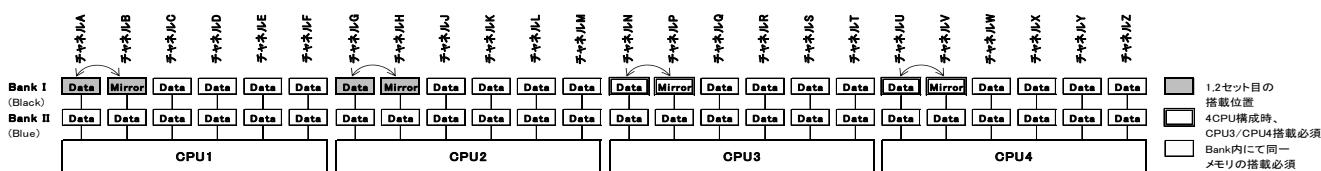
■物理CPU2個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

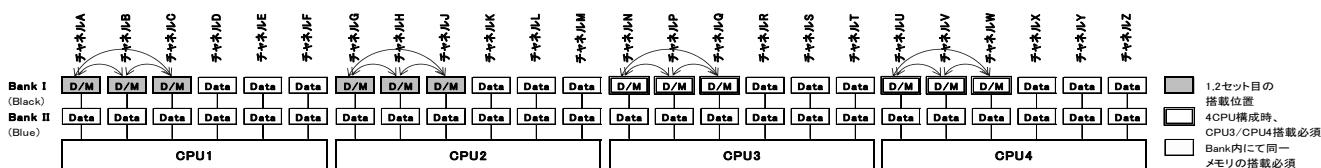
■物理CPU4個構成時

○:搭載、-:メモリ非搭載

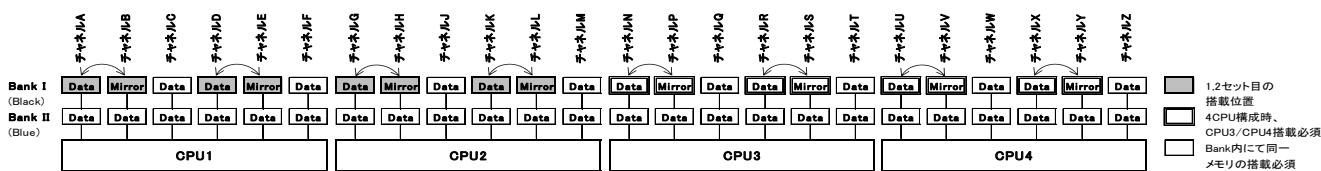
<1CPUあたり2 DIMMsの場合>



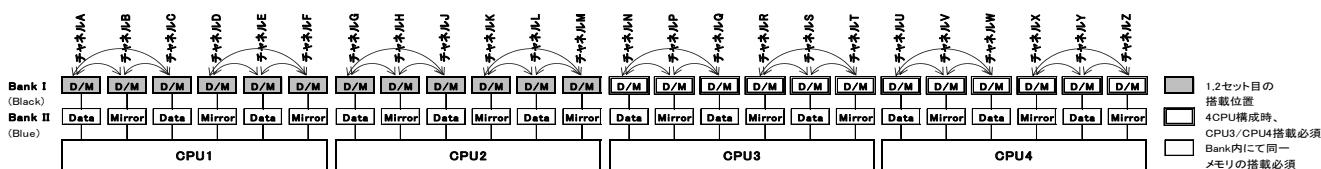
<1CPUあたり3 DIMMsの場合>



<1CPUあたり4 DIMMsの場合>



<1CPUあたり6 DIMMsの場合>



D/M: Data/Mirror

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ RX4770 M6の場合

【インディベンドモード】

- (1) Single Rank x 8(メモリ8GB(8GB 3200 RDIMM x 1), Dual Rank x 8(メモリ16GB(16GB 3200 RDIMM x 1))では、SDDC機能は未サポート。
 (2) CPU 1個につき、1枚、4枚、6枚、12枚のメモリを搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

- ・工場出荷時の制限(カスタムメイド型名手配時の制限)

- 同一メモリ型名のみ手配可能です。

- CPU毎に同一メモリ数のみ手配可能です。(メモリ数手配数合計=1, 4, 6, 12×CPU個数)

「物理CPU2個構成時」、「物理CPU4個構成時」表の〇印の構成のみカスタムメイド型名で手配可能です。それ以外の構成については、一般型名で手配し、表の搭載位置に従って搭載ください。

■ 1CPUあたりの搭載ルール

CPU	CPU0					
	0			1		
iMC	0	1	2	0	1	2
CH	0	1	0	1	0	1
SLOT	0	1	0	1	0	1
Socket	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F
1	D					
4	D	D		D	D	
6	D	D	D	D	D	D
12	D	D	D	D	D	D

■ 物理CPU2個構成時

CPU	CPU0						CPU1						
	0			1			0			1			
iMC	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	
CH	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
SLOT	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
Socket	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	
BTO	DIMMs	2CPU populated											
○	2(1/1)	D					D						
	5(4/1)	D	D		D	D	D						
	7(6/1)	D	D	D	D	D	D	D					
○	8(4/4)	D	D		D	D	D	D	D	D	D	D	
	10(6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
○	12(6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	13(12/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	16(12/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	18(12/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
○	24(12/12)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	

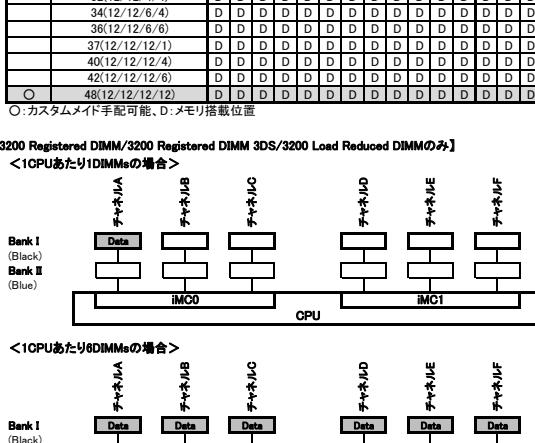
○:カスタムメイド手配可能、D:メモリ搭載位置

■ 物理CPU4個構成時

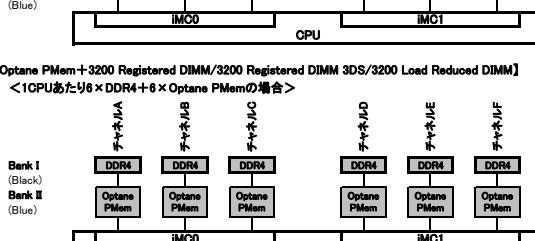
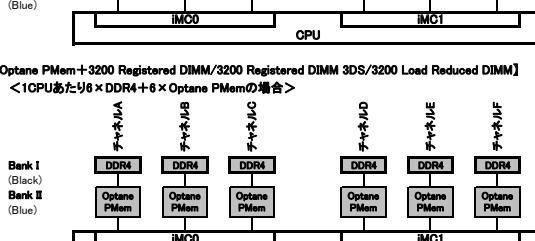
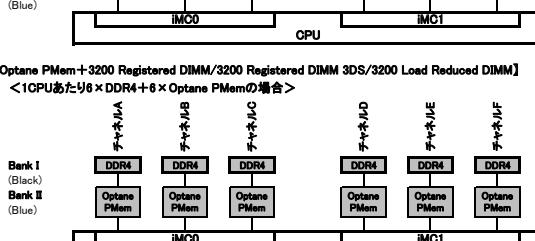
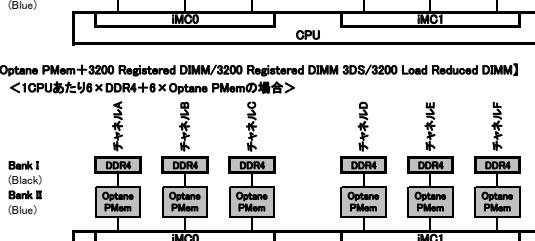
CPU	CPU0						CPU1						CPU2						CPU3							
	0			1			0			1			0			1			0			1				
iMC	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2		
CH	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		
SLOT	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		
Socket	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F		
BTO	DIMMs	4CPU populated																								
○	4(1/1/1/1)	D					D				D			D			D			D			D			
	7(4/1/1/1)	D	D		D	D	D			D			D			D			D			D				
	9(6/1/1/1)	D	D	D	D	D	D	D		D			D			D			D			D				
	10(4/4/1/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	12(6/4/1/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	13(4/4/4/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	14(6/6/1/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	15(6/4/4/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	16(4/4/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	17(6/6/4/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	18(6/6/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	19(6/6/6/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	20(6/6/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	21(12/4/4/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	22(6/6/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	23(12/6/4/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	24(6/6/6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	25(12/6/6/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	26(12/6/6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	28(12/6/6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	29(12/12/4/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	30(12/6/6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	31(12/12/6/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	32(12/12/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	34(12/12/6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	36(12/12/6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	37(12/12/12/1)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	40(12/12/12/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	42(12/12/12/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	48(12/12/12/12)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	

○:カスタムメイド手配可能、D:メモリ搭載位置

<1CPUあたり6DIMMsの場合>



<1CPUあたり8DIMMsの場合>



システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【ミラードチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 3200 RDIMM × 1)、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 3200 RDIMM × 1))では、SDDC機能は未サポートです。
- (4) ミラーチャネルモード設定サービスを選択し、カスタムメモリにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) CPU 1個につき、4枚、6枚、12枚のメモリを搭載可能です。

【DIMMの搭載位置】

- ・工場出荷時の制限(カスタムメモリ手配時の制限)

- 同一メモリ型名のみ手配可能です。
 - CPU毎に同一メモリ数のみ手配可能です。(メモリ枚数配分合計 = 4, 6, 12xCPU個数)
- 「物理CPU2個構成時」、「物理CPU4個構成時」表の○印の構成のみカスタムメモリ型名で手配可能です。それ以外の構成については、一般型名で手配し、表の搭載位置に従って搭載ください。

■1CPUあたりの搭載ルール

CPU	CPU0					
	IMC			CPU0		
CH	0	1	2	0	1	2
	0	1	0	1	0	1
SLOT	0	1	0	1	0	1
Socket	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F
4	D	D		D	D	
6	D	D	D	D	D	D
12	D	D	D	D	D	D

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU0						CPU1					
	IMC			CPU0			IMC			CPU1		
CH	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2
	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
SLOT	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
Socket	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 1D	2D 2E	1E 2F	1F 2F
BTO	DIMMs	2CPU populated										
○	8(4/4)	D	D		D	D		D	D		D	D
○	10(6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
○	12(6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	16(12+4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	18(12+6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	24(12+12)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	

○:カスタムメモリ手配可能、D:メモリ搭載位置

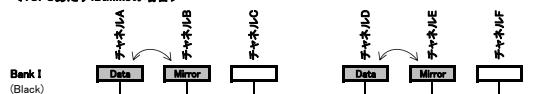
■物理CPU4個構成時

CPU	CPU0						CPU1						CPU2						CPU3						
	IMC			CPU0			IMC			CPU1			IMC			CPU2			IMC			CPU3			
CH	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	
	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
SLOT	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
Socket	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 1D	2D 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F	1A 2A	1B 2B	1C 2C	1D 2D	1E 2E	1F 2F		
BTO	DIMMs	4CPU populated																							
○	16(4/4/4/4)	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
○	18(6/4/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
○	20(6/6/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
○	22(6/6/6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
○	24(6/6/6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	26(12/6/6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	28(12/6/6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	30(12/6/6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	32(12/12/4/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	34(12/12/6/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	36(12/12/6/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	40(12/12/12/4)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
	42(12/12/12/6)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	
○	48(12/12/12/12)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		D	D		D	D		D	D		D	D	

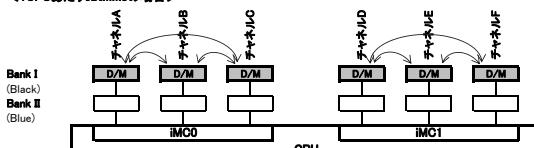
○:カスタムメモリ手配可能、D:メモリ搭載位置

[3200 Registered DIMM/3200 Registered DIMM 3DS/3200 Load Reduced DIMMのみ]

<1CPUあたり4DIMMsの場合>

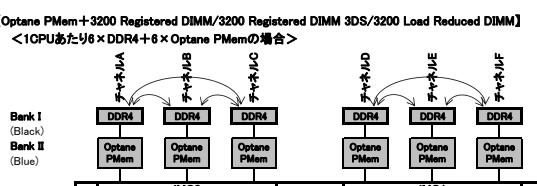


<1CPUあたり6DIMMsの場合>



[Optane PMem+3200 Registered DIMM/3200 Registered DIMM 3DS/3200 Load Reduced DIMM]

<1CPUあたり6×DDR4+6×Optane PMemの場合>



システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■CX2550 M5/CX2560 M5の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB/8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12)、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では、SDDC機能は未サポートです。
カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャネル	A	B	C	D	E	F						
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
1	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	(1)	-	-	-	-	(2)	-	-	-	-	-	-
3	(1)	-	(3)	-	-	(2)	-	-	-	-	-	-
4	(1)	-	(3)	-	-	(2)	-	(4)	-	-	-	-
5	(1)	-	(3)	(5)	-	(2)	-	(4)	-	-	-	-
6	(1)	-	(3)	(5)	-	(2)	-	(4)	(6)	-	-	-
7	(1)	(7)	(3)	(5)	-	(2)	-	(4)	(6)	-	-	-
8	(1)	(7)	(3)	(5)	-	(2)	(8)	(4)	(6)	-	-	-

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2																	
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M												
チャネル	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-
2	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	(1)	-	-	-	-	(3)	-	-	-	-	(2)	-	-	-	-	(4)	-	-	-	-	-	-	-	
4	(1)	-	-	-	-	(3)	-	-	-	-	(2)	-	-	-	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	-	-	-	(2)	-	-	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	-	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	-	(8)	-	-	-	-	-	
8	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	-	-	
9	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	-	-	
10	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	
11	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	(11)	-	(2)	-	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	(12)	-	
12	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	(11)	-	(2)	-	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	(12)	-	
13	(1)	(13)	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	(11)	-	(2)	-	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	(12)	-	
14	(1)	(13)	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	(11)	-	(2)	(14)	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	(12)	-	
15	(1)	(13)	(5)	-	(9)	(3)	(15)	(7)	-	(11)	-	(2)	(14)	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	(12)	-	
16	(1)	(13)	(5)	-	(9)	(3)	(15)	(7)	-	(11)	-	(2)	(14)	(6)	-	(10)	-	(4)	(16)	(8)	-	(12)	-	

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

【ランクスペアリングモード】※CX2560 M5のみ

- (1) 同一メモリチャネルの中で、1つのランクはほかのランクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されているため、システムメモリとして利用できません。
- (3) 1DPC構成のみサポートします(DPC:チャネルあたりのDIMM数)。
- (4) Single Rankメモリは使用できません。
- (5) ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- (6) 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- (7) Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では使用できません。
- (8) 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下のようになります。

【メモリ使用可能容量】

IDPC	RDIMM				LRDIMM	LRDIMM 3DS
	8GB	16GB	16GB	32GB	64GB	128GB
SR	SR	DR	DR	QR	OR	
-	-	8GB	16GB	48GB	64GB	

※DPC:チャネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャネル	A	B	C	D	E	F						
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
1	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	(1)	-	-	-	-	(2)	-	-	-	-	-	-
3	(1)	-	(3)	-	-	(2)	-	-	-	-	-	-
4	(1)	-	(3)	-	-	(2)	-	(4)	-	-	-	-
5	(1)	-	(3)	(5)	-	(2)	-	(4)	-	-	-	-
6	(1)	-	(3)	(5)	-	(2)	-	(4)	(6)	-	-	-

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2																	
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M												
チャネル	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-
2	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	(1)	-	-	-	-	(3)	-	-	-	(2)	-	-	-	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	(1)	-	-	-	-	(3)	-	-	-	(2)	-	-	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	-	-	(2)	-	-	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	-	-	-	
7	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	-	-	
8	(1)	-	(5)	-	-	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	-	-	
9	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	-	-	
10	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	-	(2)	-	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	-	
11	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	(11)	-	(2)	-	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	-	-	
12	(1)	-	(5)	-	(9)	(3)	-	(7)	-	(11)	-	(2)	-	(6)	-	(10)	-	(4)	-	(8)	-	(12)	-	

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

<Quad Rankメモリ(LRDIMM)の場合>

Bank I (Black)	CPU1						CPU2					
	チャネルA	チャネルB	チャネルC	チャネルD	チャネルE	チャネルF	チャネルG	チャネルH	チャネルJ	チャネルK	チャネルL	チャネルM
ランク1	Spare Data											
ランク2	Data Data											
ランク3	Data Data											
ランク4	Data Data											
Bank II (Blue)												

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスマード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
- (2) 1DPC構成のみサポートします(DPC:チャネルあたりのDIMM数)。
- (3) 各CPUには、6枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
 - ① 1CPU構成は、同一DIMM 6枚単位
 - ② 2CPU構成は、同一DIMM 12枚単位
- (4) パフォーマンスマード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- (6) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12)、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では、SDDC機能は未サポートです。

【DIMMの搭載順】

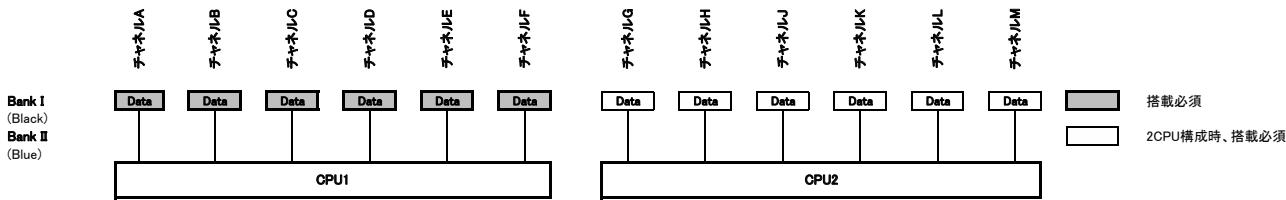
■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
チャネル	A	B	C	D	E	F
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	-
	6	①	-	③	-	⑤
	(2)	-	④	-	⑥	-

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
チャネル	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
	12	①	-	③	-	⑤	-	②	-	④	-	⑥
	(2)	-	④	-	⑥	-	⑦	-	⑨	-	⑪	-
	(8)	-	⑩	-	⑫	-	⑬	-	⑭	-	⑮	-

【DIMMの搭載位置】



【ミラーチャネルモード】※CX2560 M5のみ

- (1) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (2) 1DPC構成のみサポートします(DPC:チャネルあたりのDIMM数)。
- (3) 各CPUには最低2枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
- (4) ミラーチャネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- (6) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12)、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では使用できません。

【DIMMの搭載順】

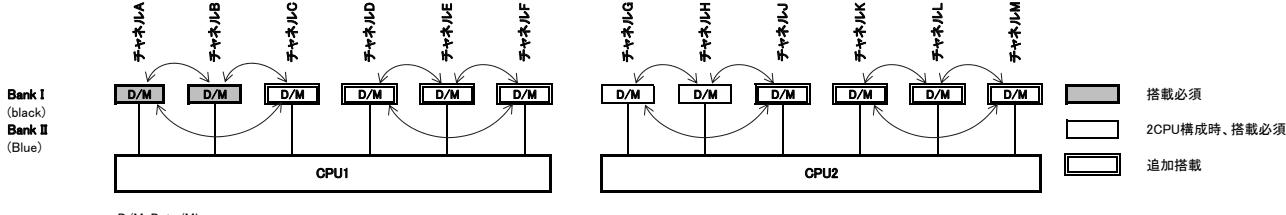
■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
チャネル	A	B	C	D	E	F
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	-
	2	①	-	②	-	-
	3	①	-	②	-	③
	4	①	-	②	-	-
	6	①	-	②	-	③
	6	①	-	②	-	③

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
チャネル	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
スロット	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
DIMMs	1A	2A	1B	-	1C	-	1D	2D	1E	-	1F	-
	4	①	-	②	-	-	-	-	-	③	-	④
	6	①	-	②	-	③	-	-	-	④	-	⑤
	8	①	-	②	-	-	-	③	-	④	-	⑤
	12	①	-	②	-	③	-	④	-	⑤	-	⑥

【DIMMの搭載位置】



D/M: Data/Mirror

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

DCPMM関連

- ご使用の際は、以下のいずれかのメモリ構成を必ず満たす必要があります。
- また、DCPMM以外のメモリとDCPMMの容量比率(Ratio)が1:4~1:16以外の場合は、ADモード(*)のみ使用可能です。
- (*) MM(メモリ)モード:通常のメモリと同様に、揮発性のメモリとして使用するモード。
- AD(App Direct)モード:不揮発性のメモリとして使用するモード。

■TX2550 M5の場合

【1CPUの場合】

メモリ構成	CPU1 (メモリスロット番号)						Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード	
	1A	1B	1C	1D	1E	1F			
構成 1	1~1~1	16	16	128	16	16	128	1 : 4.0	MM, AD
構成 2	1~1~1	32	32	128	32	32	128	1 : 2.0	ADのみ
構成 3	1~1~1	64	64	128	64	64	128	1 : 1.0	ADのみ
構成 4	1~1~1	16	16	256	16	16	256	1 : 8.0	MM, AD
構成 5	1~1~1	32	32	256	32	32	256	1 : 4.0	MM, AD
構成 6	1~1~1	64	64	256	64	64	256	1 : 2.0	ADのみ

■DCPMM

【2CPUの場合】

メモリ構成	CPU1 (メモリスロット番号)						CPU2 (メモリスロット番号)					Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード		
	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M			
構成 1	1~1~1	16	16	128	16	16	128	16	16	128	16	16	128	1 : 4.0	MM, AD
構成 2	1~1~1	32	32	128	32	32	128	32	32	128	32	32	128	1 : 2.0	ADのみ
構成 3	1~1~1	64	64	128	64	64	128	64	64	128	64	64	128	1 : 1.0	ADのみ
構成 4	1~1~1	16	16	256	16	16	256	16	16	256	16	16	256	1 : 8.0	MM, AD
構成 5	1~1~1	32	32	256	32	32	256	32	32	256	32	32	256	1 : 4.0	MM, AD
構成 6	1~1~1	64	64	256	64	64	256	64	64	256	64	64	256	1 : 2.0	ADのみ

■DCPMM

■RX2530 M5/RX2540 M5/RX4770 M5の場合

【1CPUの場合】

メモリ構成	CPU1 (メモリスロット番号)												Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード				
	A	B	C	D	E	F	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
構成 1	2~2~2	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16
構成 2	2~2~2	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32
構成 3	2~2~2	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64
構成 4	2~2~2	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128
構成 5	2~2~2	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16
構成 6	2~2~2	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32
構成 7	2~2~2	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64
構成 8	2~2~2	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128
構成 9	2~2~2	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64
構成 10	2~2~2	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128
構成 11	2~2~1	16	128	16	128	16	0	16	128	16	128	16	0	1	1	5.3	MM, AD	
構成 12	2~2~1	32	128	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	1	1	2.7	ADのみ	
構成 13	2~2~1	64	128	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	1	1	1.3	ADのみ	
構成 14	2~2~1	16	256	16	256	16	0	16	256	16	256	16	0	1	1	10.7	MM, AD	
構成 15	2~2~1	32	256	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	1	1	5.3	MM, AD	
構成 16	2~2~1	64	256	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	1	1	2.7	ADのみ	
構成 17	2~2~1	64	512	64	512	64	0	64	512	64	512	64	0	1	1	5.3	MM, AD	
構成 18	2~1~1	16	128	16	0	16	0	16	128	16	0	16	0	1	1	2.7	ADのみ	
構成 19	2~1~1	32	128	32	0	32	0	32	128	32	0	32	0	1	1	1.3	ADのみ	
構成 20	2~1~1	64	128	64	0	64	0	64	128	64	0	64	0	1	1	0.7	ADのみ	
構成 21	2~1~1	16	256	16	0	16	0	16	256	16	0	16	0	1	1	5.3	MM, AD	
構成 22	2~1~1	32	256	32	0	32	0	32	256	32	0	32	0	1	1	2.7	ADのみ	
構成 23	2~1~1	64	256	64	0	64	0	64	256	64	0	64	0	1	1	1.3	ADのみ	
構成 24	1~1~1	16	0	16	0	128	0	16	0	16	0	128	0	1	1	4.0	MM, AD	
構成 25	1~1~1	32	0	32	0	128	0	32	0	32	0	128	0	1	1	2.0	ADのみ	
構成 26	1~1~1	64	0	64	0	128	0	64	0	64	0	128	0	1	1	1.0	ADのみ	
構成 27	1~1~1	16	0	16	0	256	0	16	0	256	0	16	0	1	1	8.0	MM, AD	
構成 28	1~1~1	32	0	32	0	256	0	32	0	32	0	256	0	1	1	4.0	MM, AD	
構成 29	1~1~1	64	0	64	0	256	0	64	0	64	0	256	0	1	1	2.0	ADのみ	
構成 30	2~2~1	16	16	16	16	128	0	16	16	16	128	0	1	1	2.0	ADのみ		
構成 31	2~2~1	32	32	32	32	128	0	32	32	32	128	0	1	1	1.0	ADのみ		
構成 32	2~2~1	64	64	64	64	128	0	64	64	64	128	0	1	1	0.5	ADのみ		
構成 33	2~2~1	16	16	16	16	256	0	16	16	16	256	0	1	1	4.0	ADのみ		
構成 34	2~2~1	32	32	32	32	256	0	32	32	32	256	0	1	1	2.0	ADのみ		
構成 35	2~2~1	64	64	64	64	256	0	64	64	64	256	0	1	1	1.0	ADのみ		
構成 36	2~1~1~1	32	128	32	0	32	0	32	0	32	0	32	0	1	1	0.7	ADのみ	
構成 37	2~1~1~1	64	128	64	0	64	0	64	0	64	0	64	0	1	1	0.3	ADのみ	

■DCPMM

FUJITSU Server PRIMERGY

システム構成図留意事項

※OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【2CPUの場合】

:DCPMM

【4CPUの場合】

:DCPMM

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ CX2550 M5/CX2560 M5の場合

【1CPUの場合】

メモリ構成	CPU1						Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード					
	A 1A	B 2A	C 1B	-	D 1C	-	E 1D	2D	F 1E	-	1F	-	
構成 1	2-1-1	16	128	16	16	-	16	128	16	16	-	1 : 2.7	ADのみ
構成 2	2-1-1	32	128	32	32	-	32	128	32	32	-	1 : 1.3	ADのみ
構成 3	2-1-1	64	128	64	64	-	64	128	64	64	-	1 : 0.7	ADのみ
構成 4	2-1-1	16	256	16	16	-	16	256	16	16	-	1 : 5.3	MM, AD
構成 5	2-1-1	32	256	32	32	-	32	256	32	32	-	1 : 2.7	ADのみ
構成 6	2-1-1	64	256	64	64	-	64	256	64	64	-	1 : 1.3	ADのみ
構成 7	2-1-1	16	512	16	16	-	16	512	16	16	-	1 : 10.7	MM, AD
構成 8	2-1-1	32	512	32	32	-	32	512	32	32	-	1 : 5.3	MM, AD
構成 9	2-1-1	64	512	64	64	-	64	512	64	64	-	1 : 2.7	ADのみ
構成 10	2-1-1	128	512	128	128	-	128	512	128	128	-	1 : 1.3	ADのみ
構成 11	1-1-1	16	16	128	16	-	16	128	16	128	-	1 : 4.0	MM, AD
構成 12	1-1-1	32	32	128	32	-	32	128	32	128	-	1 : 2.0	ADのみ
構成 13	1-1-1	64	64	128	64	-	64	128	64	128	-	1 : 1.0	ADのみ
構成 14	1-1-1	16	16	256	16	-	16	256	16	256	-	1 : 8.0	MM, AD
構成 15	1-1-1	32	32	256	32	-	32	256	32	256	-	1 : 4.0	MM, AD
構成 16	1-1-1	64	64	256	64	-	64	256	64	256	-	1 : 2.0	ADのみ
構成 17	1-1-1	16	16	512	16	-	16	512	16	512	-	1 : 16.0	MM, AD
構成 18	1-1-1	32	32	512	32	-	32	512	32	512	-	1 : 8.0	MM, AD
構成 19	1-1-1	64	64	512	64	-	64	512	64	512	-	1 : 4.0	ADのみ
構成 20	2/1-1-1	16	128	16	16	-	16	128	16	16	-	1 : 2.7	ADのみ
構成 21	2/1-1-1	32	128	32	32	-	32	128	32	32	-	1 : 1.3	ADのみ
構成 22	2/1-1-1	64	128	64	64	-	64	128	64	64	-	1 : 0.7	ADのみ
構成 23	2/1-1-1	16	256	16	16	-	16	256	16	16	-	1 : 5.3	ADのみ
構成 24	2/1-1-1	32	256	32	32	-	32	256	32	32	-	1 : 2.7	ADのみ
構成 25	2/1-1-1	64	256	64	64	-	64	256	64	64	-	1 : 1.3	ADのみ
構成 26	2/1-1-1	64	512	64	64	-	64	512	64	64	-	1 : 2.7	ADのみ

■ DCPMM

【2CPUの場合】

メモリ構成	CPU1						CPU2						Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード							
	A 1A	B 2A	C 1B	-	D 1C	-	E 1D	2D	G 1G	2G	H 1H	-	I 1I	-	J 1K	2K	L 1L	2L	M 1M	-	
構成 1	2-1-1	16	128	16	16	-	16	128	16	16	-	16	128	16	16	128	16	16	128	16	16
構成 2	2-1-1	32	128	32	32	-	32	128	32	32	-	32	128	32	32	128	32	32	128	32	32
構成 3	2-1-1	64	128	64	64	-	64	128	64	64	-	64	128	64	64	128	64	64	128	64	64
構成 4	2-1-1	16	256	16	16	-	16	256	16	16	-	16	256	16	16	256	16	16	256	16	16
構成 5	2-1-1	32	256	32	32	-	32	256	32	32	-	32	256	32	32	256	32	32	256	32	32
構成 6	2-1-1	64	256	64	64	-	64	256	64	64	-	64	256	64	64	256	64	64	256	64	64
構成 7	2-1-1	16	512	16	16	-	16	512	16	16	-	16	512	16	16	512	16	16	512	16	16
構成 8	2-1-1	32	512	32	32	-	32	512	32	32	-	32	512	32	32	512	32	32	512	32	32
構成 9	2-1-1	64	512	64	64	-	64	512	64	64	-	64	512	64	64	512	64	64	512	64	64
構成 10	2-1-1	128	512	128	128	-	128	512	128	128	-	128	512	128	128	512	128	128	512	128	128
構成 11	1-1-1	16	16	128	16	-	16	128	16	128	-	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128
構成 12	1-1-1	32	32	128	32	-	32	128	32	128	-	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128
構成 13	1-1-1	64	64	128	64	-	64	128	64	128	-	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128
構成 14	1-1-1	16	16	256	16	-	16	256	16	256	-	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256
構成 15	1-1-1	32	32	256	32	-	32	256	32	256	-	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256
構成 16	1-1-1	64	64	256	64	-	64	256	64	256	-	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256
構成 17	1-1-1	16	16	512	16	-	16	512	16	512	-	16	512	16	512	16	512	16	512	16	512
構成 18	1-1-1	32	32	512	32	-	32	512	32	512	-	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512
構成 19	1-1-1	64	64	512	64	-	64	512	64	512	-	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512
構成 20	2/1-1-1	16	128	16	16	-	16	128	16	16	-	16	128	16	16	128	16	16	128	16	16
構成 21	2/1-1-1	32	128	32	32	-	32	128	32	32	-	32	128	32	32	128	32	32	128	32	32
構成 22	2/1-1-1	64	128	64	64	-	64	128	64	64	-	64	128	64	64	128	64	64	128	64	64
構成 23	2/1-1-1	16	256	16	16	-	16	256	16	256	-	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256
構成 24	2/1-1-1	32	256	32	32	-	32	256	32	256	-	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256
構成 25	2/1-1-1	64	256	64	64	-	64	256	64	256	-	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256
構成 26	2/1-1-1	64	512	64	64	-	64	512	64	512	-	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512

■ DCPMM

使用するDCPMMの容量	CPUモデル名						CPUモデル名(CXの場合)					
	Xeon Platinum 82xx/82xxY Xeon Gold 62xx/62xxR/62xxV/62xxY/62xxU Xeon Gold 52xx/52xxR/52xxS Xeon Silver 4215/4215R						Xeon Platinum 82xx/82xxY Xeon Gold 62xx/62xxR/62xxV Xeon Gold 52xx/52xxR/52xxS Xeon Silver 4215/4215R					
128GB												
256GB												
512GB	Xeon Platinum 82xxL Xeon Gold 62xxL Xeon Gold 52xxL						-					

○: 使用可能、×: 使用不可

(*1) VMwareのサポート状況(本体/オプション)等の最新情報は、当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/vmware/>)にてご確認ください。

・DCPMMの工場出荷時設定は、MMモードです。ADモードを使用する場合は、使用前にBIOSメニューでADモードへの設定変更を行なう必要があります。

・ADモードを設定後に、さらにDCPMMを増設する場合は、ADモードの再設定が必要となり、DCPMMに保存されたユーザデータは消去されます。必要に応じて、データのバックアップを実施してください。

・DCPMMを使用する場合は、本体のメモリモードを“インディペンデントモード”(デフォルト)に設定してご使用ください。

・UEFIモードのみサポートしています。

・OSブート領域として、使用はできません。

・本製品は有寿命部品のため、寿命時には製品の再購入が必要です。詳細は、「有寿命部品関連」を参照してください。

FUJITSU Server PRIMERGY

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Optane PMem 開連

- ・ご使用の際は、以下のいずれかのメモリ構成を必ず満たす必要があります。

■ RX2530 M6/RX2540 M6の場合

【1CPUの場合

メモリ構成	(メモリスロット番号)												Ratio (Optane PMem以外、Octane PMem)	使用可能なモード				
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L						
1A	2A	2B	2C	2D	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H				
機構成 1	1	12-2			16	16	16	16	128	16	16	16	16	128	1	1.3	ADのみ	
機構成 2	1	12-2	16	16	16	16	16	16	256	16	16	16	16	256	1	1.27	ADのみ	
機構成 3	1	12-2	32	32	32	32	32	32	256	32	32	32	32	256	1	1.3	ADのみ	
機構成 4	1	12-2	16	16	16	16	16	16	512	16	16	16	16	512	1	1.53	ADのみ	
機構成 5	5	12-2	32	32	32	32	32	32	512	32	32	32	32	512	1	2.7	ADのみ	
機構成 6	5	12-2	64	64	64	64	64	64	512	64	64	64	64	512	1	1.3	ADのみ	
機構成 7	7	8-8	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	1	1.8	AD-MM	
機構成 8	8	8-8	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	1	4.0	AD-MM	
機構成 9	8	8-8	64	64	64	64	64	64	128	64	64	64	64	128	1	2.0	ADのみ	
機構成 10	10	8-8	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	1	1.0	ADのみ	
機構成 11	11	8-8	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	1	16.0	MMのみ
機構成 12	12	8-8	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	1	8.0	AD-MM	
機構成 13	13	8-8	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	1	4.0	AD-MM	
機構成 14	14	8-8	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	1	2.0	ADのみ	
機構成 15	15	8-8	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	1	1.0	ADのみ	
機構成 16	16	8-8	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	1	16.0	MMのみ	
機構成 17	17	8-8	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	1	8.0	AD-MM	
機構成 18	18	8-8	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	1	4.0	AD-MM	
機構成 19	19	8-8	256	512	256	512	256	512	256	512	256	512	256	512	1	2.0	ADのみ	
機構成 20	20	8-8	32	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	1	1.0	AD-MM	
機構成 21	21	8-8	64	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	1	2.0	ADのみ	
機構成 22	22	8-8	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	1	1.0	ADのみ	
機構成 23	23	8-8	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	1	8.0	AD-MM	
機構成 24	24	8-8	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	1	4.0	AD-MM	
機構成 25	25	8-8	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	1	2.0	ADのみ	
機構成 26	26	8-8	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	1	1.0	ADのみ	
機構成 27	27	8-8	16	512	16	512	16	512	16	512	16	512	16	512	1	16.0	MMのみ	
機構成 28	28	8-8	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	1	8.0	AD-MM	
機構成 29	29	8-8	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	1	4.0	AD-MM	
機構成 30	30	8-8	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	1	2.0	ADのみ	
機構成 31	31	8-8	256	512	256	512	256	512	256	512	256	512	256	512	1	1.0	ADのみ	
機構成 32	32	8-8	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	1	1.0	ADのみ	
機構成 33	33	8-8	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	1	2.0	ADのみ	
機構成 34	34	8-8	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	1	1.0	ADのみ	
機構成 35	35	8-8	16	512	16	512	16	512	16	512	16	512	16	512	1	4.0	AD-MM	
機構成 36	36	8-8	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	1	2.0	ADのみ	
機構成 37	37	8-8	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	1	1.0	ADのみ	
機構成 38	38	8-8	16	16	16	16	16	16	128	16	16	16	16	128	1	1.3	ADのみ	
機構成 39	39	8-8	16	16	16	16	16	16	256	16	16	16	16	256	1	2.7	ADのみ	
機構成 40	40	8-8	32	32	32	32	32	32	256	32	32	32	32	256	1	1.3	ADのみ	
機構成 41	41	8-8	64	16	16	16	16	16	512	16	16	16	16	512	1	5.3	AD-MM	
機構成 42	42	8-8	32	32	32	32	32	32	512	32	32	32	32	512	1	2.7	ADのみ	
機構成 43	43	8-8	64	64	64	64	64	64	512	64	64	64	64	512	1	1.3	ADのみ	
機構成 44	44	4-4	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	1	8.0	AD-MM	
機構成 45	45	4-4	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	1	4.0	AD-MM	
機構成 46	46	4-4	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	1	2.0	ADのみ	
機構成 47	47	4-4	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	1	1.0	ADのみ	
機構成 48	48	4-4	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	1	16.0	MMのみ	
機構成 49	49	4-4	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	1	8.0	AD-MM	
機構成 50	50	4-4	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	1	4.0	AD-MM	
機構成 51	51	4-4	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	1	2.0	ADのみ	
機構成 52	52	4-4	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	1	1.0	ADのみ	
機構成 53	53	4-4	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	32	512	1	16.0	MMのみ	
機構成 54	54	4-4	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	1	8.0	AD-MM	
機構成 55	55	4-4	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	1	4.0	AD-MM	
機構成 56	56	4-4	256	512	256	512	256	512	256	512	256	512	256	512	1	2.0	ADのみ	

 : Optane PMe

(*1) RX2540 M6のみ構成可能

【2CPUの場合

: Optane PMe

(*1) RX2540 M6のみ構成可能

FUJITSU Server PRIMERGY

システム構成図留意事項

※OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■RX4770 M6の場合

【1CPUの場合】

メモリ構成	CPU1 (メモリロット・番号)										Ratio (Optane PMem以外 との比率)	使用可能な モード			
	A	B	C	D	E	F	1A	1B	1C	1D	1E	1F			
構成 1	2-2-2	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	1 :	4.0	ADのみ
構成 2	2-2-2	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	1 :	2.0	ADのみ
構成 3	2-2-2	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	1 :	1.0	ADのみ
構成 4	2-2-2	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	1 :	4.0	ADのみ
構成 5	2-2-2	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	1 :	2.0	ADのみ
構成 6	2-2-2	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	1 :	4.0	ADのみ

Optane PMem

【2GPUの場合】

Optane PMem

【4CPUの場合】

Octane RM

・Optane PMemを使用する場合は、以下のCPUを選択する必要があります。

使用するOptane PMemの容量	CPUモデル名
128GB	Xeon Gold 53xxH/63xxH/63xxHL Xeon Platinum 83xx/83xxY/83xxH/83xxHL
256GB	Xeon Gold 53xxH/63xxH/63xxHL Xeon Platinum 83xx/83xxY/83xxH/83xxHL
512GB	Xeon Gold 53xxH/63xxH/63xxHL Xeon Platinum 83xx/83xxY/83xxH/83xxHL

・対象のOSと、使用できるOptane PMemのモードは以下のとおりです

OS	Optane PMem のメモリーモード		
	MMモード100% (*1)	MM/ADモード混在	ADモード100%
Windows2019	○	×	○
RHEL7.9	○	×	○
RHEL8.2	○	×	○
RHEL8.3	○	×	○
SLES 15 SP2	○	×	○

○：使用可能、×：使用不可

(*) RX4770 M6はOSによらずMMモードは使用不可です。

・Optane PMemの工場出荷時設定は、MMモードです。ADモードを使用する場合は、使用前にBIOSメニューでADモードへの設定変更を行う必要があります。

・ADモードを設定後に、さらにOptane PMemを増設する場合は、ADモードの再設定が必要となり、Optane PMemに保存されたユーザデータは消去されます。必要に応じて、データのバックアップを実施してください。

・Optane PMemを使用する場合は、本体のメモリモードを“インディペンデントモード”に設定してご使用ください。

LIFEカードの紹介パートでいきま

お問い合わせは、お問い合わせ窓口までお願いします。

・OSフート領域として、使用はできません。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

		適用OS	Windows系					Linux系		
装置型名	規格		WS12S/D	WS12F	WS12RS	WS16S/D/E	WS19SS	RHEL7(intel64)	SLES12(x86_64)	SLES15(x86_64)
RDX 装置	PY-RD111	RDX USB 3.0	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○
	PYBRD111		▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○
LTO 装置	PY-LT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	×	○	○	○
	PYBLT611		×	×	×	×	×	○	○	○
LTO 装置	PY-LT711	LTO Ultrium7	×	×	×	×	×	○	○	○
	PYBLT711		×	×	×	×	×	○	○	○
	PY-LT811	LTO Ultrium8	×	×	×	×	×	○	○	○
	PYBLT811		○	○	○	○	○	(*)2	(*)3	○

○: 対応

×: 未対応

▲: 内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)の設定が、「Fixed Disk」モードの場合のみサポート

ー: OS組合せなし

(*1) 最新対応状況につきましては、当社ホームページ(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

(*2) SLES 12 SP4、SP5 でサポート。

(*3) SLES 15 SP2 のみサポート。

留意事項

- ・内蔵バックアップ装置(RDX装置を除く)をWindows OSでご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアが必要です。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)を Windows Server Backup でご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」のインストールが必要です。「RDX Utility for Windows」は、当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)から入手可能です。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backup でご使用になる場合、本装置の設定は必ず「Fixed Disk」モードでご使用ください。「Fixed Disk」モードは、内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backupで使用可能にするための専用モードです。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をバックアップソフトウェアでご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」をインストールしないでください。
- ・Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar、cpio、ddをご使用ください。
- ・OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。

■ Arcserve対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserveの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserveの最新情報や使用上の注意については、下記をご参考ください。

当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/software/arcserve/>)

		適用OS	WS12S/D/F		WS12RS/D/F/E WSS12RS		WS16S/D/E WSS16S		WS19S/D/E WSS19SS	
装置型名	規格		Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0	Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0	Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0	Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0
RDX 装置	PY-RD111	RDX USB 3.0	○	○	○	○	○	○	○	○
	PYBRD111		○	○	○	○	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT611	LTO Ultrium6	○	○	○	○	○	○	○	○
	PYBLT611		○	○	○	○	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT711	LTO Ultrium7	○	○	○	○	○	○	○	○
	PYBLT711		○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT811	LTO Ultrium8	×	×	×	×	×	○	(*)1	○
	PYBLT811		○	○	○	○	○	○	○	○

○: 対応

×: 未対応

ー: OS組合せなし

(*1) Arcserve社提供のモジュール(Arcserve Backup 17.5 SP1)の適用が必須。

(Arcserve社のサイト: <https://support.arcserve.com/s/article/115001198543?language=ja>)

FUJITSU Server PRIMERGY

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバッファップ装置とNetVault Backup for Windowsのバージョンについて記します。

なお、PRIMERGY フリースに接続されるバックアップ装置と NetVault Backup for Windows の最新情報は、当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>)をご覧ください。

適用OS		NetVault Backup 製品						WS19S/D					
		規格			装置型名			RDX 装置			LTO 装置		
Windows Server 2012 R2		NetVault Backup 13.0			NetVault Backup 12.3			NetVault Backup 12.0			NetVault Backup 11.3		
Windows Server 2012 R2		NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 13.0	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 13.0
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	PY-LT811 PYBLT811	LTO Ultrium8	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○

○：対応
×：未対応

(+1) NetVault Backup 11 のバージョンは、IL NetVault Backup 11.4 の適用が必要です。

■ Backups Everywhere

PRIMERGY ラインナップに接続されているバックアップ装置とBackup Execの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されているハックノット装置とBackup Execの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Execの最新情報や使用上の注意

Q: 對應

○：対応
×：未対

◎：対応(ただし、当社提供のUSBドライバの適用必須)

一：OS組合せなし

(*) 媒体(Data Cartridge RDX)をまたがるシステムバックアップは未サポート。

(*2) SDRによるリストアは未サポート。

(*3) Datacenter は未サポート

(*4) Backup Exec 2014 SP1以降でサポート。

(*) Datacenter の場合、SDRによるリストアは未サポート。

(*6) Feature Pack 1以降の適用必須。

(*7) Backup Exec 20.4 以降の適用必須。

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。

当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>)

		適用OS NetVault Backup 版数	RHEL7(Intel64)				RHEL8(Intel64)				SLES 12 (x86_64)				SLES 15 (x86_64)				
装置型名	規格		NetVault Backup 10.0	NetVault 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 13.0	NetVault Backup 10.0	NetVault 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 13.0	NetVault Backup 10.0	NetVault 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○
	PY-LT811 PYBLT811	LTO Ultrium8	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×

○: 対応

×: 未対応

-: OS組合せなし

(※1) SLES 12 SP2、SP3でサポート。

iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連

- 標準搭載のiRMC(リモートマネジメントコントローラ)やオプションのSASコントローラカード/SASアレイコントローラカードを搭載することにより、使用OSに依存せず、「Agentレス」「管理LAN(業務LAN非使用)」にて、ストレージ/RAIDの状態監視管理が可能です。専用のソフトウェア(ServerView Agents等)を導入する必要がないため、CPUやメモリリソースを消費せず、業務アプリケーションへのリソース配置の最適化が可能となります。

- 本機能を使用可能な機種/オプション構成は下表のとおりです。

機種により選択可能なストレージコントローラ型名は異なりますので、システム構成図等でご確認ください。

機種	搭載するストレージコントローラ			JX40 S2/JX60 S2接続	
	オンボード	SASコントローラカード	SASアレイコントローラカード	SASコントローラカード	SASアレイコントローラカード
			<ul style="list-style-type: none"> • PY-SR3FA/PYBSR3FA • PY-SR3FB/PYBSR3FBL • PY-SR3C41/PYBSR3C41 • PY-SR3C41H/PYBSR3C41H • PY-SR3C42/PYBSR3C42 • PY-SR3C42H/PYBSR3C42H • PY-SR3C43/PYBSR3C43 • PY-SR3C43H/PYBSR3C43H • PY-SR3C52/PYBSR3C52/ PYBSR3C52L • PY-SR3C54/PYBSR3C54/ PYBSR3C54L • PY-SR3C55/PYBSR3C55L • PYBSR3C56/PYBSR3C56L • PY-SR3C58/PYBSR3C58/ PYBSR3C58L • PYBSR3C59/PYBSR3C59L • PY-SR4C6/PYBSR4C6L 		
RX1330 M4	○	○	◎	-	-
RX2520 M5	○	○	◎	-	◎
RX2530 M5	○	○	◎	-	◎
RX2530 M6	○	○	●	●	●
RX2540 M5	○	○	◎	-	◎
RX2540 M6	○	○	●	●	●
RX4770 M5	-	○	◎	-	◎
RX4770 M6	○	○	●	●	●
TX1320 M4	○	○	◎	-	-
TX1330 M4	○	○	◎	-	-
TX2550 M5	○	○	◎	-	◎
CX2550 M5	○	○	◎	-	◎
CX2560 M5	○	○	◎	-	◎

●:ストレージ/RAID監視管理可能、◎:ストレージ/RAID監視可能、○:ストレージ監視可能、×:不可、-:対象構成無し(非サポート構成)

- 詳細な監視管理対象/設定方法等につきましては、下記当社ホームページに掲載の「マニュアル」をご確認ください。

■当社ホームページ:

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

「ServerView Suite のマニュアル」→「製品を選択する」→「製品の検索」→「iRMC」で検索する

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

セキュリティチップ(TPM)およびインテル トラステッド・エグゼキューション・テクノロジー(インテル® TXT)のサポートについて

RX2520 M5/RX2530 M5/RX2530 M6/RX2540 M5/RX2540 M6/RX4770 M5/RX4770 M6/TX1310 M3/TX2550 M5/CX2550 M5/CX2560 M5において、以下のとおりOS、TPM、BIOSの種類により、TPMおよびインテル® TXTのサポートが異なりますので、ご注意願います。

OS	インテルTXT: 設定なし TPM 1.2を使用 BIOS: レガシーまたはUEFIモード		インテルTXT: 設定なし TPM 2.0を使用 BIOS: UEFIモードのみ		インテルTXT: 設定あり TPM 1.2を使用 BIOS: レガシーモードのみ		インテルTXT: 設定あり TPM 2.0を使用 BIOS: UEFIモードのみ	
	PY-TPM03 PYBTPM03	PYBTPM10	PY-TPM05 PYBTPM05	PY-TPM09 (*2) PYBTPM09	PY-TPM03 PYBTPM03	PYBTPM10	PY-TPM05 PYBTPM05	PY-TPM09 PYBTPM09
Windows Server 2019	x	x	○	○	x	x	x	x
Windows Server 2016	○	○	○	○	x	x	x	x
Windows Server 2012 R2	○	○	○	○	x	x	x	x
Windows Server 2012	○	-	○	-	x	-	x	-
Red Hat Enterprise Linux 8.3	x	x	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 8.2	x	x	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 8.1	x	x	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 8.0	x	x	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.9	x	x	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.8	x	○	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.7	x	○	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.6	x	○	x	○	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.5	x	○	x	x	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.4	x	○	x	x	x	x	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.3	x	○	x	x	x	x	x	x
SUSE Linux Enterprise Server 15	x	x	x	x	x	x	x	x
SUSE Linux Enterprise Server 12	○ (*1)	○ (*1)	x	x	x	x	x	x
VMware ESXi 7.0	x	x	x	○	x	x	x	○
VMware ESXi 6.7	x	x	x	○	x	x	x	○
VMware ESXi 6.5 以前	x	x	x	x	x	x	x	x

○: サポート x: 非サポート -: 対象構成無し

(*1) SP2以降でサポート。

(*2) PY-TPM09を手配した場合はTPM2.0で出荷されますので、TPM1.2で使用する場合はダウンロードサイトより対応ファームウェアを入手して適用してください。

故障などにより交換された場合においても同様にお客様にて対応ファームウェアを適用してください。

Windows Serverでは、TPM2.0をご使用ください。

※ BIOSファームウェアをアップデートする際は、BIOS設定画面にてインテル® TXTの設定を無効にする必要があります。

※ 制限留意事項については当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>)のサーバ本体の個別マニュアル「ご使用上の留意・注意事項」も併せてご確認ください。

※ セキュリティチップ(TPM)の証明書が必要な場合は、TPMの提供元(Infineon社)より入手していただく必要があります。

詳細については、当社ホームページ(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/pg-option/>)をご参照ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- Windows Server OSについては、ダウングレード/ダウンエディション権があります。

Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008における適用可能な組合せの考え方は下表のとおりです。

ダウングレード例: Windows Server® 2019 > Windows Server® 2016 > Windows Server® 2012 R2 > Windows Server® 2012 > Windows Server® 2008 R2

> Windows Server® 2008

ダウンエディション例: Datacenter > Enterprise > Standard > Essentials > Foundation

	ダウングレード/ダウンエディション可能な組合せ																			
	WS19S	WS19D	WS19E	WS16S	WS16D	WS16E	WS12RS	WS12RD	WS12RF	WS12RE	WS12S	WS12D	WS12E	WS08RS	WS08RE	WS08RD	WS08S-32/64	WS08E-32/64	WS08D-64	
保有ライセンス	WS19S	-	x	○	○	x	○	○	x	○ (*)	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS19D	○	-	○	○	○	○	○	○	○ (*)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS19E	x	x	-	x	x	○	x	x	○ (*)	○	x	x	○	x	x	x	x	x	x
	WS16S	x	x	x	-	x	○	○	x	○ (*)	○	○	x	○	○	x	○	○	x	
	WS16D	x	x	x	○	-	○	○	○	○ (*)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS16E	x	x	x	x	x	-	x	x	○ (*)	○	x	x	○	x	x	x	x	x	x
	WS12RS	x	x	x	x	x	x	-	x	x	○	○	x	○	○	x	○	○	x	
	WS12RD	x	x	x	x	x	x	○	-	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	○	○	x	○	○	x	
	WS12D	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	○	○	○	○	○	○
	WS08RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	○	x	x
	WS08RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x	○	x
	WS08RD	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-	○	○	○
	WS08S-32/64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x	
	WS08E-32/64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x	
	WS08D-64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-	

○: 可能、x: 不可、-: 対象外

(*) OEM の場合のみ、Foundation の利用が可能

- ダウングレード/ダウンエディション権行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。

- Windows Server 2019 ダウングレード権の詳細は、「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」を参照してください。

マイクロソフトソフトウェアライセンス条項については、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。

マイクロソフト社ホームページ(<https://www.microsoft.com/ja-jp/useterms>)

OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール/バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。

- Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2は、64bit版のみの提供となります。

Windows Server® 2016へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2019に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2016をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。

- Windows Server® 2016へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記のとおりです。

(1) 本製品には、Windows Server® 2019のOS媒体に加え、Windows Server® 2016のOS媒体も同梱されます。

さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2016のインストール作業を代行します。

(2) 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2019用となります。Windows Server® 2016ではご使用できません。

CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていませんので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。

(3) 本製品にはWindows Server® 2019のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2016から切り替えての使用が可能です。

ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2019の動作状況をご確認のうえ、ご適用ください。

Windows Server® 2012 R2へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2019に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2012 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。

- Windows Server® 2012 R2へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記のとおりです。

(1) 本製品には、Windows Server® 2019のOS媒体に加え、Windows Server® 2012 R2のOS媒体も同梱されます。

さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2012 R2のインストール作業を代行します。

(2) 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2019用となります。Windows Server® 2012 R2ではご使用できません。

CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていませんので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。

(3) 本製品にはWindows Server® 2019のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2012 R2から切り替えての使用が可能です。

ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2019の動作状況をご確認のうえ、ご適用ください。

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows Server OSメディアキットについて

- Windows Server OSメディアキットは、Windows OSをダウングレード/ダウンエディションして使用する場合に必要となる「インストールメディア/プロダクトキー」です。「メディアキット」にはライセンスは含まれておりませんので、Windows Server OS ライセンスが含まれているWindows Server OS インストール/バンドルオプションと一緒にご購入/されるお客様へのみ提供可能となります。「メディアキット」のみでの手配はできません。
手配上の、組み合わせ詳細については、「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」をご参照ください。

Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。
専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。提供ラインナップ詳細は下表のとおりです。

	SupportDesk Standard (Windows Server Standard)	SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard Windows Server® IoT 2019 for Storage Standard Windows® Storage Server 2016 / 2012 R2 Standard Windows Server® 2012 R2 / 2012 Foundation Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Essentials Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise (*3) 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard Windows Server® IoT 2019 for Storage Standard Windows® Storage Server 2016 / 2012 R2 Standard Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Essentials Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise (*3) 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise
ゲスト対象OS	-	※ホストOS/ゲストOSの組み合わせは、富士通でサポート可能な組み合わせに限る。(※2)	※ホストOS/ゲストOSの組み合わせは、富士通でサポート可能な組み合わせに限る。(※2)
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 専門技術者によるOSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など) Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) 		

(*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。

(*2) 詳細については、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

(*3) Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Standardからのダウングレード利用時の対象です。

マイクロソフト社製ソフトウェア製品使用時の留意事項について

- サービスプロバイダ様がマイクロソフト社製ソフトウェア製品を利用したサービス(例:ASP/SaaS、アウトソーシング、ホスティング等)を第三者(エンドユーザー様)に提供する場合、「サービスプロバイライセンス(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。そのため、サーバ本体と同時に契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品をご利用になる場合には、上記のサービスを第三者(エンドユーザー様)において、ご提供することはできませんので、ご注意くださいますよう、お願いいたします。ただし、ハウジングサービス(サービス利用者様がライセンスを資産として所有)において、ご利用になるサーバがサービス利用者様のみの使用である場合に限り、サーバ本体と同時に契約し、サーバ本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品のライセンス体系を適用することができます。
- OSインストールには、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、スーパーマルチドライブユニットを手配する必要があります。
- Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、33GB以上の論理ボリュームが必要となります。
- PRIMERGYでパッケージ製品の「Windows Server® 2012 R2」をお使いになる場合には、KB2883200のHotfixを適用いただく必要があります。
Hotfixの適用方法については、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。
マイクロソフト社ホームページ(<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2883200/windows-8-1-and-windows-server-2012-r2-general-availability-update-roll>)
- Windows Server® 2016 / 2012 R2 Standard, Datacenter, Essentials または Windows Server® 2012 Essentialsに含まれるWindows Server Essentials のバックアップ機能を使用する場合は、2台以上の内蔵ストレージ(もしくはロジカルドライブ)が必要となります。
- Windows Server® 2016 から提供された機能 Switch Embedded Teaming (SET) をご使用される場合は、同一型名の LANカードを選択いただく必要があります。
Switch Embedded Teaming (SET) の詳細は以下のマイクロソフト社ホームページをご確認ください。
マイクロソフト社ホームページ(<https://docs.microsoft.com/en-us/windows-server/virtualization/hyper-v/virtual-switch/rdma-and-switch-embedded-teaming>)
- その他留意事項に関する最新情報は、当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)をご確認ください。

Windows Serverの最新情報について

- マイクロソフト社はイベントMicrosoft Igniteにおいて、「Microsoft® Windows Server® 2019」を発表しました。
富士通における対応状況については当社ホームページ「Microsoft® Windows Server® 2019の動作確認情報」(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/2019/>)をご参照ください。
- マイクロソフト社は、2017年10月より、Windows Serverの新しいリリースモデルとして「半期チャネル」の提供を開始しました。
半期チャネルは、ソフトウェア アシュアランスをご利用するお客様を対象に、年2回、コンテナアプリケーションやコンテナホスト向けの最新機能を提供するリリースプログラムです。“Server Core”、“Nano Server”のみでのご利用に限定されます。
PRIMERGYにおける半期チャネルの最新の対応状況や留意事項は当社ホームページ「富士通のWindows情報」(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)をご参照ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Linux関連事項

Red Hat Enterprise Linuxのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- Red Hat Enterprise LinuxのSupportDeskは年額払いのOS単体サポート商品としてご提供していますが、一部のラインナップでは一括払いとPRIMERGYと同時手配可能なオプションをご提供します。
- オプション提供品のラインナップ詳細は下表のとおりです。

	SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)				SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート)							
	1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)	1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)				
サービス期間	1/3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	5年							
サービス時間帯	平日/24時間365日				平日/24時間365日							
サポート範囲	物理CPU数 (Socket数)	~2	~2	~2	無制限	~2	~2	~2				
	RHELゲスト OS数	~1	~4	無制限	~2	~1	~4	無制限				
使用可能 ハイバーバイザ	RHEL仮想マシン機能		Hyper-V VMware		RHEL仮想マシン機能		Hyper-V VMware					
サポートOS(*1)(*2)	Red Hat Enterprise Linux				Red Hat Enterprise Linux							
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) プロダクトIDの入手手続き代行 				<ul style="list-style-type: none"> 専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) プロダクトID(EUSサービスを含む)の入手手続き代行 							

(*1) 対象版数については、当社ホームページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

(*2) 仮想環境におけるサポートOSの組み合わせについては、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

(*3) 同時起動仮想マシン数は、RHEL以外の他OSを含めて4以下に制限されます。5ゲスト以上動作させる場合は、年額払いの拡張プラスサポート「RHEL Server [PG 2CPU/ゲスト無制限]」を別途ご契約ください。

・詳細はシステム構成図(サービス一覧)の「SupportDesk StandardにおけるRed Hat Enterprise Linuxのサポートについて」をご参照ください。

Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションについて

- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。
- サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、工場出荷時に機器と同時手配するSupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux) [PYBで始まるカスタムメイド型名]との同時手配必須となります(Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションのみでの手配はできません)。
- OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールしてください。
- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションを手配しない場合、インストールイメージ(ISOファイル)をRed Hat Networkからダウンロードしてください。
Red Hat Networkに、Red Hat Enterprise LinuxのSupportDesk契約者に提供していますプロダクトIDを登録することで、アクセス可能です。

SUSE Linux Enterprise Serverのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したSUSE Linuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- SUSE Linux Enterprise ServerのSupportDeskは年額払いのOS単体サポート商品としてご提供しています。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、
当社ホームページ(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ (*1)		
		ext3/ext4	XFS	btrfs
Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	12TB	16TB / 50TB	500TB	-
Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)	24TB	16TB / 50TB	1PB	-
SUSE Linux Enterprise Server 12 for AMD64 & Intel64	64TB	- / 1EB	8EB	16EB
SUSE Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64	64TB	- / 1EB	8EB	16EB

(*1) システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

Linux仮想環境におけるWindowsゲストインストール時のメディアについて

Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。

別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

SUSE Linux Enterprise Server 15 インストール時のメディアについて

SUSE Linux Enterprise Server 15をインストールする場合、Installer DiskとPackages Diskの2種類のインストールメディアが必要になります。

この内、Packages Diskは4.7Gbyteを超えるため、DVD-R/DVD-RW(片面1層)はご利用できません。DVD-R DL(片面2層)、または、USBメモリ(Packages Diskのisoイメージが格納できる容量以上)をご利用ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

機種名	RHEL7 / RHEL8		SLES 12 / SLES 15		
	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時	オンボード(SATA) コントローラにて	
	RAID機能 有効時	RAID機能 無効時		RAID機能 有効時	RAID機能 無効時
RX1330 M4	×	○	○	×	○
RX2520 M5	×	-	○	×	-
RX2530 M5	×	-	○	×	-
RX2530 M6	×	○	○	×	○
RX2540 M5	×	-	○	×	-
RX2540 M6	×	○	○	×	○
RX4770 M5	-	-	○	-	-
RX4770 M6	×	○	○	×	○
TX1310 M3	×	○	-	×	○
TX1320 M4	×	○	○	×	○
TX1330 M4	×	○	○	×	○
TX2550 M5	×	-	○	×	-
CX2550 M5	×	○	○	×	○
CX2560 M5	×	○	○	×	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

OSオプションの略称、同時手配可能数について

- ・OSオプションの略称および手配可能数は下表のとおりです。OSオプションごとの組合せについては、「OSオプションの同時選択可否について」をご参照ください。

■ Windows

	略称	品名	型名	手配可能数
Windows	インストール	WS19S	Windows Server 2019 Standard(16コア) インストール	PYBWPS9
		WS19S(Hyper-V)	Windows Server 2019 Standard(16コア/Hyper-V) インストール	PYBWPS9H
		WS16S(2019DG)	Windows Server 2019 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2016 Standard インストール	PYBWPDS6
		WS12RS(2019DG)	Windows Server 2019 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2012 R2 Standard インストール	PYBWPDS32
	バンドル	WS19S	Windows Server 2019 Standard(16コア) バンドル	PYBWBS9
		WS19S Add(2Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(2コア)	PY-WAS9/PYBWAS9
		WS19S Add(4Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(4コア)	PY-WAS92/PYBWAS92
		WS19S Add(16Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(16コア)	PY-WAS93/PYBWAS93
	バンドル	WS19D	Windows Server 2019 Datacenter(16コア) バンドル	PYBWBD9
		WS19D Add(2Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(2コア)	PYBWAD9
		WS19D Add(4Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(4コア)	PYBWAD92
		WS19D Add(16Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(16コア)	PYBWAD93
	インストール	WSI19SS(16Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard(16コア) インストール	PYBWPB9S
		WSI19SS(24Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard(24コア) インストール	PYBWPB9S2
	バンドル	WSI19SS Add(16Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard Additional License(16コア) バンドル	PYBWAWS9S
		WSI19SS Add(24Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard Additional License(24コア) バンドル	PYBWAWS9S2
	インストール	WSS16S	Windows Storage Server 2016 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPW6S
バンドル	DCAL	DCAL1	Windows Server 2019 1 Device CAL	PYBWC01B
		DCAL5	Windows Server 2019 5 Device CAL	PYBWC05B
		DCAL10	Windows Server 2019 10 Device CAL	PYBWC10B
		DCAL50	Windows Server 2019 50 Device CAL	PYBWC50B
		DCAL100	Windows Server 2019 100 Device CAL	PYBWC1HB
	UCAL	UCAL1	Windows Server 2019 1 UserCAL	PYBWC01B
		UCAL5	Windows Server 2019 5 UserCAL	PYBWC05B
		UCAL10	Windows Server 2019 10 UserCAL	PYBWC10B
		UCAL50	Windows Server 2019 50 UserCAL	PYBWC50B
		UCAL100	Windows Server 2019 100 UserCAL	PYBWC1HB
バンドル	RDSDCAL	RDSDCAL1	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 1 Device CAL	PYBWC01J
		RDSDCAL5	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 5 Device CAL	PYBWC05J
		RDSDCAL10	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 10 Device CAL	PYBWC10J
		RDSDCAL50	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 50 Device CAL	PYBWC50J
		RDSDCAL100	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 100 Device CAL	PYBWC1HJ
バンドル	RDSUCAL	RDSUCAL1	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 1 User CAL	PYBWC01J
		RDSUCAL5	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 5 User CAL	PYBWC05J
		RDSUCAL10	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 10 User CAL	PYBWC10J
		RDSUCAL50	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 50 User CAL	PYBWC50J
		RDSUCAL100	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 100 User CAL	PYBWC1HJ
バンドル	SQL2019	SQL2019(サーバ/CAL)	Microsoft SQL Server 2019 Standard バンドル	PYBWB9
		SQL2019(4Core)	Microsoft SQL Server 2019 Standard(4コア) バンドル	PYBWB9L
		SQL2019 Add(2Core)	Microsoft SQL Server 2019 Standard Additional License(2コア) バンドル	PYBWAL9
		SQL 2019 DCAL1	Microsoft SQL Server 2019 1 Device CAL	PYBWC01S
		SQL 2019 DCAL5	Microsoft SQL Server 2019 5 Device CAL	PYBWC05S
		SQL 2019 DCAL10	Microsoft SQL Server 2019 10 Device CAL	PYBWC10S
		SQL 2019 UCAL1	Microsoft SQL Server 2019 1 User CAL	PYBWC01S
		SQL 2019 UCAL5	Microsoft SQL Server 2019 5 User CAL	PYBWC05S
		SQL 2019 UCAL10	Microsoft SQL Server 2019 10 User CAL	PYBWC10S
バンドル (メディアオプション)	SQL2017	Microsoft SQL Server 2017 Standard メディアキット	PYBWB72	1
	SQL2016	Microsoft SQL Server 2016 Standard メディアキット	PYBWB62	1
	SQL2014	Microsoft SQL Server 2014 Standard メディアキット	PYBWB43	1
バンドル (メディアオプション)	WS19S	Windows Server 2019 Standard メディアキット	PYBWBS92	1
	WS16S	Windows Server 2016 Standard メディアキット	PYBWBS62	1
	WS16D	Windows Server 2016 Datacenter メディアキット	PYBWBD62	1
	WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard メディアキット	PYBWBS32	1
インストール	WS19E	Windows Server 2019 Essentials インストール	PYBWPB9	1
バンドル	WS19E	Windows Server 2019 Essentials バンドル	PYBWB9	1

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

略称			品名	型名	手配可能数	
Linux	バンドル	RHEL8	Red Hat Enterprise Linux 8.2 媒体バンドル	PYBLB82	1	2
			Red Hat Enterprise Linux 8.1 媒体バンドル	PYBLB81	1	
		RHEL7	Red Hat Enterprise Linux 7.9 媒体バンドル	PYBLB79	1	4
			Red Hat Enterprise Linux 7.8 媒体バンドル	PYBLB78	1	
			Red Hat Enterprise Linux 7.7 媒体バンドル	PYBLB77	1	
	サポート		Red Hat Enterprise Linux 7.6 媒体バンドル	PYBLB76	1	2
	RHEL 基本 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR**02	(*)1)		
	RHEL 基本 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK**02	(*)1)	1	
	RHEL VDC 基本	Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD**03	(*)1)	1	
	RHEL 基本 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN**02	(*)1)	1	
	RHEL 拡張 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR5+E2	(*)1)	1	
	RHEL 拡張 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK5+E2	(*)1)	1	
	RHEL VDC 拡張	Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD5+E3	(*)1)	1	
	RHEL 拡張 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN5+E2	(*)1)	1	
VMware	仮想化基盤ソフト	vS7S 1年平日	VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付	B515ZHA81	4	4 (*)2)
		vS7S 1年24時間	VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付	B51613A81	4	
		vS7S 5年平日	VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付	B515ZHA85	4	
		vS7S 5年24時間	VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付	B51613A85	4	
		vS7EP 1年平日	VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付	B5162PA81	4	
		vS7EP 1年24時間	VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付	B5162QA81	4	
		vS7EP 5年平日	VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付	B5162PA85	4	
		vS7EP 5年24時間	VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付	B5162QA85	4	
	OS管理ソフト等	vCen7 1年平日	VMware vCenter Server 7 Standard 1年間平日サポート付	B515VE981	- (*)3)	- (*)3)
		vCen7 1年24時間	VMware vCenter Server 7 Standard 1年間24時間サポート付	B51619981	- (*)3)	
		vCen7 5年平日	VMware vCenter Server 7 Standard 5年間平日サポート付	B515VE985	- (*)3)	
		vCen7 5年24時間	VMware vCenter Server 7 Standard 5年間24時間サポート付	B51619985	- (*)3)	
		vS7 M.2 7.0	VMware vSphere Hypervisor 7.0用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PYBFMF03NV6	1	1
			VMware vSphere Hypervisor 7.0 Update1用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PYBFMF03NV7	1	
			VMware vSphere Hypervisor 7.0用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PYBFMF24NV5	1	
			VMware vSphere Hypervisor 7.0 Update1用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PYBFMF24NV6/PYBFMF24NV7	1	
		M.2	VMware vSphere Hypervisor用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PY-MF03NV2	1	1 (*)4)
			VMware vSphere Hypervisor用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PY-MF24NV4/PYBFMF24NV4	1	
		vS7 DSD 7.0	VMware vSphere Hypervisor 7.0 Update 1用 デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB×2, RAID1付)	PYBMD6400/PYBMD6400	1	
		DSD	デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB×2, RAID1付)	PY-MD6401/PYBMD6401	1	

(*1) 型名に使用されているアスタリスク(*)は、基本/拡張サポート(Standard/Standard24)がすべて対象であることを示しています。

(*2) 搭載しているCPUが32コア以下の場合は、1つのCPU(ソケット単位)あたり1つの製品が必要です。

搭載しているCPUが33コア～64コアの場合は、1つのCPU(ソケット単位)あたり2つの製品が必要です。

(*3) 手配可能数制限なし。

(*4) デュアルM.2 コントローラカード[PY-DMCP20/PYBDMCP20/PYBDMCP20L/PYBDMCP21/PYBDMCP21L/PYBDMCP22/PYBDMCP22L]手配時は2となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションの同時選択可否について

- ・OSオプションを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようにになります
(機種により選択可能なOSオプションは異なりますので、樹系図表紙の「サポートOS」、および樹系図内の「OSオプション」をご確認のうえ、手配ください)。

■ Windows

	OSオプション	Windows														メディアキット		
		インストール				バンドル				WS19S Add(2/4/16Core)				WS16S Add(16/24Core)				
		WS19S	WS19S(Hyper-V)	WS19E	WS19SS(16Core)	WS19SS(24Core)	WS16S(2019DG)	WS16S(2019DG)	WS19S	WS19D	WS19E	WS19S Add(2/4/16Core)	WS19D Add(2/4/16Core)	WS19S	WS16S	WS16D	WS12RS	WS19S
Windows	インストール	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	
	WS19S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	
	WS19S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	
	WS19E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	WS19SS(16Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
	WS19SS(24Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
	WS16S(2019DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	
	WSS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	
	WS12RS(2019DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	
	バンドル	WS19S	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	
	WS19D	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WS19E	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WS19S Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WS19D Add(2/4/16Core)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WS19SS Add(16/24Core)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	メディアキット	WS19S	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WS16S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WS16D	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WS12RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	OS管理ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	UCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2019(サーバCAL)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2019(4Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2019 Add(2Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2019(2Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2017	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2017	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL 2019 DCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SQL 2019 UCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Linux	バンドル	RHEL8.2 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL8.1 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL7.9 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL7.8 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL7.7 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL7.6 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
VMware	仮想化基盤ソフト	vSTS 1年平日	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vSTS 1年24時間	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vSTS 5年平日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vSTS 5年24時間	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vSTEP 1年平日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vSTEP 1年24時間	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vSTEP 5年平日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vSTEP 5年24時間	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	OS管理ソフト等	vCen7 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vCen7 1年24時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vCen7 5年平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vCen7 5年24時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	v7 M.2 7.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	vS7 DSD 7.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付される

インストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

(*3) vCenter7からvCenter6へダウングレードすることでWindows版 vCenter Serverが利用可能です。ご利用にあたり、必ずVMwareサポートポリシーをご確認ください。

<https://www.vmware.com/content/dam/digitalmarketing/vmware/ja/pdf/support/product-lifecycle-matrix.pdf>

(*4) vCenterはWindows版 vCenter Serverは利用できません。ESXi上で動作させるvCenter Server Applianceのみ利用可能です。

FUJITSU Server PRIMERGY

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Windows/Linux

○：同時手配可、×：同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*)2 Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

(*) vCenter7からvCenter6へダウングレードすることでWindows版 vCenter Serverが利用可能です。ご利用にあたり、必ずVMwareサポートポリシーをご確認ください。

<https://www.vmware.com/content/dam/digitalmarketing/vmware/ja/pdf/support/product-lifecycle-matrix.pdf>

(*) vCenterはWindows版vCenter Serverは利用できません。ESXi上で動作させるvCenter Server Applianceのみ利用可能です。

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ VMware

OSオプション		VMware												DSD		
		仮想化基盤ソフト						OS管理ソフト等								
		vSTS 1年平日	vSTS 1年24時間	vSTS 5年平日	vSTS 5年24時間	vSTEP 1年平日	vSTEP 1年24時間	vSTEP 5年平日	vSTEP 5年24時間	vCen7 1年平日	vCen7 1年24時間	vCen7 5年平日	vCen7 5年24時間	vS7 M2 7.0	M.2	vS7 DSD 7.0
Windows	インストール	WS19S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS19S(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS19E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WSI19SS(16Core)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WSI19SS(24Core)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS16S(2019DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	O(*3)	O(*3)	O(*3)	O(*3)	x	x
		WSS16S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12RS(2019DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	O(*3)	O(*3)	O(*3)	O(*3)	x	x
	バンドル	WS19S	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WS19D	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WS19E	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WS19S Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WS19D Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WSI19SS Add(16/24Core)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	メディアキット	WS19S	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WS16S	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WS16D	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
		WS12RS	○	○	○	○	○	○	○	○	O(*4)	O(*4)	O(*4)	O(*4)	○	○
	OS管理ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		UCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2019(サーバ/CAL)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2019(4Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2019 Add(2Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2017	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL 2019 DCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL 2019 UCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Linux	バンドル	RHEL8.2 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL8.1 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.9 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.8 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.7 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.6 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VMware	仮想化基盤ソフト	vSTS 1年平日	○	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	○
		vSTS 1年24時間	x	○	x	x	x	x	x	x	○	x	x	○	○	○
		vSTS 5年平日	x	x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	○	○	○
		vSTS 5年24時間	x	x	x	○	x	x	x	x	○	x	x	○	○	○
		vSTEP 1年平日	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	○	○	○
		vSTEP 1年24時間	x	x	x	x	x	○	x	x	○	x	x	○	○	○
		vSTEP 5年平日	x	x	x	x	x	○	x	x	○	x	x	○	○	○
		vSTEP 5年24時間	x	x	x	x	x	x	○	x	x	○	x	○	○	○
	OS管理ソフト等	vCen7 1年平日	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	○
		vCen7 1年24時間	x	○	x	x	x	○	x	x	○	x	x	○	○	○
		vCen7 5年平日	x	x	○	x	x	○	x	x	○	x	x	○	○	○
		vCen7 5年24時間	x	x	x	○	x	x	○	x	x	○	x	○	○	○
		vS7 M.2 7.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x
		M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x
		vS7 DSD 7.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x
		DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDes Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須。また、同一版数のバンドル媒体を複数手配することはできません。

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付される

インストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

(*3) vCenter7からvCenter6へダウングレードすることでWindows版 vCenter Serverが利用可能です。ご利用にあたり、必ずVMwareサポートポリシーをご確認ください。

<https://www.vmware.com/content/dam/digitalmarketing/vmware/ja/pdf/support/product-lifecycle-matrix.pdf>

(*4) vCenterはWindows版 vCenter Serverは利用できません。ESXi上で動作させるvCenter Server Applianceのみ利用可能です。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションとSupportDeskの同時選択可否について

- ・OSオプションとハードウェア用SupportDesk、OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようにになります
(機種により選択可能なOSオプション、SupportDeskは異なります)。

■ ハードウェア用SupportDesk

OSオプション	SupportDesk	ハードウェア用SupportDesk														
		保証延長パック 翌営業日以降訪問修理			SupportDeskパック Standard/Standard24			SupportDeskパック 保守交換ディスク引渡プラス/ 保守交換ディスク引渡プラス24			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス24			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス 24		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Windows	インストール	WS19S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS19S(Hyper-V)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS19E	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WSI19SS(16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WSI19SS(24Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS16S(2019DG)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WSS16S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RS(2019DG)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バンドル	WS19S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS19D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS19E	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS19S Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS19D Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WSI19SS Add(16/24Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メディア キット	WS19S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS16S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS16D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS12RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	UCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL2019(サーバ/CAL)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL2019(4Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL2019 Add(2Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL2017	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL 2019 DCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SQL 2019 UCAL1/5/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Linux	バンドル	RHEL8.2 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL8.1 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.9 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.8 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.7 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RHEL7.6 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VMware	仮想化基盤 ソフト	vS7S 1年平日	×	○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vS7S 1年24時間	×	○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vS7S 5年平日	×	×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		○(*2)
		vS7S 5年24時間	×	×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		○(*2)
		vS7EP 1年平日	×	○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vS7EP 1年24時間	×	○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vS7EP 5年平日	×	×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		○(*2)
		vS7EP 5年24時間	×	×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		○(*2)
	OS管理 ソフト等	vCen7 1年平日	×	○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vCen7 1年24時間	×	○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vCen7 5年平日	×	×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		○(*2)
		vCen7 5年24時間	×	×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		×	○(*2)		○(*2)
		vS7 M.2 7.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	DSD	vS7 DSD 7.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ OS用SupportDesk

		OS用SupportDesk																									
		SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/拡張サポート(*3) 2CPU/1ゲスト]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート/拡張サポート(*3) 2CPU/4ゲスト]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート/拡張サポート(*3) 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/拡張サポート(*3) 2ゲスト(ゲスト専用)]							
OSオプション		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	
Windows	インストール	WS19S	○	○	x		x		x		○		x		○		○		○		○		x		○		x
		WS19S(Hyper-V)	○	○	x		x		x		○		x		○		○		○		○		x		○		x
		WS19E	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
		WSI19SS(16Core)	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
		WSI19SS(24Core)	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
		WS16S(2019DG)	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
		WSS16S	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
		WS12RS(2019DG)	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
	バンドル	WS19S	○	○	x		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		WS19D	x	x	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		WS19E	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
		WS19S Add(2/4/16Core)	○	○	x		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		WS19D Add(2/4/16Core)	x	x	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		WS19SS Add(16/24Core)	○	○	x		x		x		○		x		x		x		x		x		x		x		x
	メディアキット	WS19S	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		WS16S	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		WS16D	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		WS12RS	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
	OS管理ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		UCAL1/5/10/50/100	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		SQL2019(サーバーCAL)	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		SQL2019(4Core)	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		SQL2019 Add(2Core)	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		SQL2017	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		SQL2016	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		SQL2014	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
	Linux	SQL 2019 DCAL1/5/10	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		SQL 2019 UCAL1/5/10	○	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
VMware	仮想化基盤ソフト	RHEL8.2 (*1)	x	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		RHEL8.1 (*1)	x	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		RHEL7.9 (*1)	x	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		RHEL7.8 (*1)	x	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		RHEL7.7 (*1)	x	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		RHEL7.6 (*1)	x	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
		vS7S 1年平日	x	○(*2)	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vS7S 1年24時間	x	○(*2)	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
	OS管理ソフト等	vS7S 5年平日	x	x	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vS7S 5年24時間	x	x	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vS7EP 1年平日	x	○(*2)	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vS7EP 1年24時間	x	○(*2)	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)		○(*2)
		vS7EP 5年平日	x	x	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vS7EP 5年24時間	x	x	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vCen7 1年平日	○(*2)	○(*2)	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vCen7 1年24時間	○(*2)	○(*2)	○(*2)		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vCen7 5年平日	x	○(*2)	x		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vCen7 5年24時間	x	○(*2)	x		○(*2)		○(*2)		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vS7 M.2 7.0	x	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		M.2	x	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		vS7 DSD 7.0	x	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x
		DSD	x	○	○		○		○		x		x		x		x		x		x		x		x		x

○:同時手配可 ×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

(*3) 拡張サポートは5年のみ

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

- OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

Windows用SupportDesk			SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)		
			3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Linux用SupportDesk	SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	x	x	x	○	○	○	x	○	○	○	x	○	○	○	
		3年				○	x	x		○	x	x		○	x	x	x
		4年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	x	x	x	x	○	○	○	x	○	○	○	x	○	○	○	x
		3年				○	x	x		○	x	x		○	x	x	
		4年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x
		4年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x
		4年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x
		4年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x
		4年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x
		5年				x	x	x		x	x	○		x	x	○	
		5年				x	x	x		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x
		5年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x
		5年				x	x	x		x	x	x		x	x	x	
		5年				x	x	x		x	x	x		x	x	x	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x
		5年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x
		5年				x	○	x		x	○	x		x	○	x	
		5年				x	x	○		x	x	○		x	x	○	

○:同時手配可 ×:同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

- OS用SupportDeskとハードウェア用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります
(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

ハードウェア用SupportDesk			保証延長パック 翌営業日以降訪問修理			SupportDeskパック Standard			SupportDeskパック Standard24			SupportDeskパック 保守交換ディスク 引渡プラス			SupportDeskパック 保守交換ディスク 引渡プラス24					
OS用SupportDesk			3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年			
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年	x	○	x	x	x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x	○	x		x	○	x	x	x		x	○	x					
	5年		x	x	○		x	x	○	x	x		x	x	○					
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	x	○	x	x	x	x			x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x	○	x		x						x	○	x					
	5年		x	x	○		x						x	x	○					
SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	x	○	x	x	x	x			x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x	○	x		x						x	○	x					
	5年		x	x	○		x						x	x	○					
SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	x	○	○	○	x	x			x	x	x	○	○	○	x	x			
	3年		○	x	x		x						○	x	x					
	4年		x	○	x		x						x	○	x					
	5年		x	x	○		x						x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	x	x			x	○	○	○	x	x	x	○	○	○	x	x			
	3年		x				○	x	x				x	○	x					
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	x	○	x	x	x	x			x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x	○	x		x						x	○	x					
	5年		x	x	○		x						x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト/ゲスト専用]	3年	x	○	x	x	x	x			x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x	○	x		x						x	○	x					
	5年		x	x	○		x						x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト/ゲスト専用]	3年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	3年	x	○	x	x	x	x			x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x	○	x		x						x	○	x					
	5年		x	x	○		x						x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/2ゲスト]	3年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	4年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	5年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	x	○	x	x	x	x			x	x	x	○	x	x	x	x			
	5年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	5年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト/ゲスト専用]	5年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	5年		x				x	○	x				x	○	x					
	5年		x				x	x	○				x	x	○					
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト/ゲスト専用]	5年	x	x			x	○	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x			
	5年		x				x	○												

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

ハードウェア用SupportDesk			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・定期点検プラス			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・定期点検プラス24			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・定期点検・保守交換ディスク引渡プラス			SupportDeskパック BIOS/ファームウェアアップデート・定期点検・保守交換ディスク引渡プラス 24		
OS用SupportDesk	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年		
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×				
	5年	×	×	○				×	×	○				
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×	
	4年				×	○	×				×	○	×	
	5年				×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×				
	5年	×	×	○				×	×	○				
SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×	
	4年				×	○	×				×	○	×	
	5年				×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×				
	5年	×	×	○				×	×	○				
SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×	
	4年				×	○	×				×	○	×	
	5年				×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	○	○	○	×			○	○	○	×			
	3年	○	×	×				○	×	×				
	4年	×	○	×				×	○	×				
	5年	×	×	○				×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×			○	○	○	×			○	○	○	
	3年				○	×	×				○	×	×	
	4年				×	○	×				×	○	×	
	5年				×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×				
	5年	×	×	○				×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×	
	4年				×	○	×				×	○	×	
	5年				×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×				
	5年	×	×	○				×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×	
	4年				×	○	×				×	○	×	
	5年				×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×				
	5年	×	×	○				×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×	
	4年				×	○	×				×	○	×	
	5年				×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○	

○:同時手配可 ×:同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表のとおりです。

※各サーバにて使用可能なホストOSはサーバ本体のサポートOSに準じます。

- VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「富士通がサポートする、ESX / ESXi 各バージョンのゲストOS」をご確認ください。当社ホームページ(<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>)をご参照ください。
 - Hyper-VでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「当社サポート可能なゲストOS」をご確認ください。
- 当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/technical/hv/index.html>)

ゲストOS	ホストOS S/D					RHEL7 (Intel64) (KVM)			RHEL8 (Intel64) (KVM)	SLES 12 (x86_64)			SLES 15 (x86_64)			VMware		
						KVM/XEN				KVM/XEN			KVM/XEN					
		Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	7.0/7.1/7.5/7.8/7.9	7.2	7.3/7.4/7.6		8.0~	GA	SP1	SP2/SP3	SP4	SP5	GA	SP1/SP2	vS6
Windows	WS19S	x	x	○	○		x	○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	×	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*7)	○	
	WS19D	x	x	○	○		x	○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	×	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*7)	○	
	WS19E	x	x	○	○		x	○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	×	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	x	x	
	WS16S	x	○	○	○	x		○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○	
	WS16D	x	○	○	○	x		○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○	
	WS16E	x	○	○	○	x		○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○	
	WS12RS	○	○	○	○	x		○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○	
	WS12RD	○	○	○	○	x		○(*1)(*2)(*3)	○(*1)(*2)	x	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○	
	WS12RF	x	x	x	x		x		x	x	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	x	x	
	WS12RE	○	○	○	○	x		○(*1)(*2)	x	x	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	○(*1)(*2)	x	x	
	WS12S	○	○	○	○	x		○(*1)(*2)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	○	○	
	WS12D	○	○	○	○	x		○(*1)(*2)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	○	○	
	WS12F	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS12E	○	○	○	○	x		○(*1)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08RS (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*2)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08RE (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*1)(*2)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08RD (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*1)(*2)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08RF	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08S-32/64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08E-32/64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*1)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08D-64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*1)(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08F-64	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08RW (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08W-32/64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08RH	x	x	x	x	x		SP1(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WS08H-32	x	x	x	x	x		SP2(*3)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	W10H	x	○	○	○		x		x	x	x	x	x	x	x	○	○	
	W10P	x	○	○	○		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W10EN	x	○	○	○		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W10ED	x	○	○	○		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	W8.1	○	○	○	○		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W8.1P	○	○	○	○		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W8.1E	○	○	○	○		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W8	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W8P	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W8E	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	○	○	○	
	W7HP	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	W7P/E/U (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WVHB/HP	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WVB/E/U	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WXPPx64	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	WXPP	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
Linux	RHEL8(Intel64)	x	x	○	○		○		○	x	x	x	x	x	○	○	○	
	RHEL7(Intel64)	○	○(*4)	7.2~	7.6~		○		○	x	x	x	x	x	○	○	○	
	RHEL6(x86/Intel64)	6.4~	6.4~(*5)	6.7~	x		○		○	x	x	x	x	x	○	○	○	
	RHEL5(x86/Intel64)	5.9~	5.9~(*5)	x	x		5.3~		x	x	x	x	x	x	○	x		
	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	x	x	x	x		4.8~		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	RHEL ES/AS3(x86)	x	x	x	x		x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	SLES 15 (x86_64)	x	x(*6)	x(*6)	x(*6)		x		x	x	GA	GA, SP1	GA~SP3	GA~SP4	GA~SP5	GA, SP1~SP5	SP1~SP5	
	SLES 12 (x86_64)	x	SP1	SP1, SP2	x(*6)		x		x	GA	GA, SP1	GA~SP3	GA~SP4	GA~SP5	SP2~SP5	SP2~SP5		
	SLES 11 (x86_64)	x	SP4	SP4	x(*6)		x		x	SP3, SP4	SP3, SP4	SP3, SP4	SP3, SP4	SP3, SP4	SP4	SP4	x	

○: サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります) ×: サポート対象外を示す。

(*1) KVM/XEN上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラスタ構成はサポート対象外となります。

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OS をインストールする場合、PRIMERGY本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

(*3) 拡張プラスサポートを契約している場合に限ります。

(*4) 第2世代仮想マシンを使用する場合、セキュアブート機能を無効にする必要があります。

(*5) 第1世代仮想マシンのみのサポートとなります。第2世代仮想マシンは、ハードウェア認証未取得のためサポートされません。

(*6) Hyper-V上におけるLinuxサポートの最新情報は当社ホームページ(<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/technical/hv/index.html>)をご確認ください。

(*7) VMware ESXi 6.5 以降でサポートします。

(*8) Windowsに関するSupportDeskでは、マイクロソフト社の延長サポートフェーズ終了から1年間、独自でサポートを継続提供します。

マイクロソフト社の延長サポートフェーズについては、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。

マイクロソフト社ホームページ(<https://support.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/search>)

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/
PRIMERGYコンフィグ(システム構成ツール)	製品ラインナップからモデルを選択し「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/
ServerView Suite	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/
ServerView Suite DVD	サーバ運用管理はDVDで提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsvd/
オプション選択指針	
SATA HDDの選択・使用条件	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/
USBメモリを必要とする作業	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/
OSのサポート情報、動作確認情報	
Windows	https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/
Linux	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html
VMware	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/
未サポートOS情報	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
技術情報	
性能情報	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/
消費電力計算ツール	https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/technical/calculate/
サポート情報	
重要なお知らせ	https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/
製品保証ご案内	https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/note/
製品の販売終息と保守終了情報	https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/repair.html
セキュリティ情報	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/ http://www.fmworld.net/biz/security/
サービス情報	
運用・保守サポート SupportDesk(PRIMERGY)	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html
カスタムメイドプラス	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/
インフラ基本導入サービス	https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html
マニュアル	ServerView Suite ServerBooks に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/
消耗品、データメディアの購入	LTOテープ、データカートリッジ https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/products/supply/media/

PRIMERGY 留意事項編 更新履歴

版数	日付	更新箇所	更新内容
57版	2021/6/8		6月エンハンス内容の反映
56版	2021/2/2		2月エンハンス内容の反映
55版	2020/11/10		11月エンハンス内容の反映
54版	2020/9/8		9月エンハンス内容の反映
53版	2020/7/30	内蔵ストレージ関連事項 iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連	SASアレイコントローラカード[PY-SR3C41/PYBSR3C41/PY-SR3C42/PYBSR3C42/PY-SR3C43/PYBSR3C43]を追加
52版	2020/5/19		5月エンハンス内容の反映
51版	2020/4/1		4月エンハンス内容の反映
50版	2020/2/25		2月エンハンス内容の反映
49版	2019/11/1		11月エンハンス内容の反映
48版	2019/7/16		7月エンハンス内容の反映
47版	2019/5/10	メモリの動作モードについて	■RX2530 M5/RX2540 M5の場合、■RX4770 M5の場合 ランクスペアリングモードの【メモリ使用可能容量】を修正 インディペンデントチャネルモード、ランクスペアリングモード、ミラードチャネルモードの説明を修正 ■CX2550 M5/CX2560 M5の場合 ランクスペアリングモードを追加 インディペンデントチャネルモード、パフォーマンスマード、ミラードチャネルモードの説明を修正
46版	2019/4/3		4月エンハンス内容の反映
45版	2019/1/29		1月エンハンス内容の反映
44版	2018/12/18		12月エンハンス内容の反映
43版	2018/1/29		1月エンハンス内容の反映
42版	2018/12/18		12月エンハンス内容の反映
41版	2018/7/31		7月エンハンス内容の反映
40版	2018/6/12	メモリの動作モードについて	RX4770 M4 Mirror Mode時DIMM搭載位置の修正
39版	2018/5/24	メモリの動作モードについて	RX2530 M4/RX2540 M4 Mirror Mode時DIMM搭載位置の修正
38版	2018/4/3		4月エンハンス内容の反映
37版	2018/2/14	メモリの動作モードについて	■RX2530 M4/RX2540 M4の場合、■RX4770 M4の場合のランクスペアリングモード 【メモリ使用可能容量】および【DIMMの搭載位置】を修正
36版	2018/1/30		1月エンハンス内容の反映
35版	2017/12/4		Red Hat Enterprise Linux 7.2媒体バンドルを削除(販売終了)
34版	2017/11/2		11月エンハンス内容の反映
33版	2017/8/29		8月エンハンス内容の反映
32版	2017/7/12		7月エンハンス内容の反映
31版	2017/5/30		5月エンハンス内容の反映
30版	2017/4/11		4月エンハンス内容の反映
29版	2017/2/8		2月エンハンス内容の反映
28版	2016/11/28	表「NetVault Backup for Windows対応表」 表「NetVault Backup for Linux対応表」	NetVaultBackup 8.6およびNetVaultBackup 8.6.3を削除
		表「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」	Windows Server 2016 Essentials インストール、Windows Storage Server 2016 Standard(2CPU/2VM) インストール、Windows Server 2016 Standard メディアキットを追加 Windows Server 2016 Standard Additional Licenseの手配可能数を変更 VMwareとMicrosoft SQL Serverを同時に手配可に変更 SupportDesk Standard/Standard24(Windows Server Datacenter 仮想化対応)とメディアキットを同時に手配可に変更
		表「各OSの仮想化機能について」	VMwareのゲストOSとして、WS16S/WS16D/WS16Eをサポート
27版	2016/10/17		10月エンハンス内容の反映
26版	2016/8/2		8月エンハンス内容の反映
25版	2016/7/8	セキュリティチップ(TPM)およびインテルトラステッド・エグゼキューション・テクノロジー(インテル® TXT)のサポートについて	セキュリティチップの型名修正
24版	2016/6/7		6月エンハンス内容の反映
23版	2016/4/4		4月エンハンス内容の反映
22版	2015/12/22		12月エンハンス内容の反映
21版	2015/8/28		8月エンハンス内容の反映
20版	2015/7/3	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)について」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての注記追加
19版	2015/6/12	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)について」 表「バックアップ装置関連事項」 表「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」 表「各OSの仮想化機能について」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての内容変更 NetVault Backup 8.5、8.5.2の削除 Backup Exec 15追加 VMware vSphere Hypervisor 6.0用 USB Flash モジュールの型名修正 VMware vS6とRHEL5(x86/Intel64)の組合せを変更
18版	2015/5/7		5月エンハンス内容の反映
17版	2015/4/2		4月エンハンス内容の反映
16版	2015/2/12		2月エンハンス内容の反映
15版	2015/1/16		1月エンハンス内容の反映
14版	2014/12/9	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種にRX200 S8を追加
13版	2014/11/18		11月エンハンス内容の反映
12版	2014/9/9		9月エンハンス内容の反映
11版	2014/8/21		8月エンハンス内容の反映
10版	2014/7/22	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種からRX200 S8を削除
9版	2014/5/12		5月エンハンス内容の反映
8版	2014/1/9		1月エンハンス内容の反映
7版	2013/11/5		11月エンハンス内容の反映

版数	日付	更新箇所	更新内容
6版	2013/9/11		9月エンハンス内容の反映
5版	2013/7/3	Windows関連事項	Windows関連事項の内容見直し
4版	2013/5/8	内蔵ストレージ関連事項	<構成規則について> の(5)の表に、SASアレイコントローラ拡張ボード[PYBSRD081A]を追加、およびSASアレイコントローラ拡張ボード[PY-SRD08]の記載位置を修正
3版	2013/4/23		4月エンハンス内容の反映
2版	2013/1/22		1月エンハンス内容の反映
初版	2012/10/17		新規作成